

令和6年度第2回四街道市総合計画審議会

会議次第

日 時：令和6年11月15日（金）

午後3時から

場 所：四街道市役所4階第1委員会室

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 会議の公開・非公開

4. 議 題

(1) 四街道市総合計画第1期基本計画（HAPPY SMILE PLAN）進行管理について

(2) 第2期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略総括評価の報告について

(3) 第3期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子案について

(4) その他

5. 閉 会

(案)

四街道市総合計画

H A P P Y
S M I L E
P L A N

笑顔と笑顔をつなぐ街 四街道



令和7年度 進行管理
(令和6年度 実施事業)

成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
地域に応援されていると感じる人の割合	調査未実施のため 現状値なし	—	50.0%	—：評価対象外	
夢や目標をもっている児童生徒の割合	小学生 79.7% 中学生 68.0%	小学生 88.8% 中学生 77.7%	全国平均以上かつ増加	◎：達成	全国平均 小学生 80.0% 中学生 70.0%
政策の推進度	調査未実施のため 現状値なし	—	中間年度の数値を上回る	—：評価対象外	
「こども110番の家」新規登録件数	73件	65件	116件	▲：進捗なし	
市域からの二酸化炭素総排出量	415千t-CO2 (令和2年度)	300千t-CO2	265千t-CO2	○：進捗あり	

【現状値】：令和4年度実績値（計画策定時の最新値が令和4年度と異なる場合は、（ ）にその年度を記載）

【令和6年度】：令和6年度実績値

【目標値】：令和10年度目標値

※中間年度の数値とは、令和7年度に実施する市民意識調査の値を指します。

【進捗状況】：令和6年度の進捗状況について、次の4つの区分で判定

◎：達成	令和6年度実績値が目標値を達成したもの
○：進捗あり	令和6年度実績値が目標値に向け進捗したもの
▲：進捗なし	令和6年度実績値が目標値に向け進捗しなかったもの ※現状値から数値の更新がなかったものを除く
—：評価対象外	現状値から数値の更新がなかったもの

【備考】：令和6年度実績値と比較する全国平均の数値を記載

HAPPY SMILE PLANに定める77の成果指標（内訳：重点プロジェクト12指標、分野10指標、政策55指標）のうち、分野の10指標については、市民意識調査の数値を用いるため、令和6年度時点では、数値の更新がなかったことから、これを除いた67指標のみ掲載しています。

四街道市総合計画第1期基本計画進行管理（令和6年度）重点プロジェクト成果指標の進捗状況

重点 <small>priority</small> 重点プロジェクト					
未来 <small>futute</small> 未来を応援する道					
成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
地域に応援されていると感じる人の割合	調査未実施のため 現状値なし		50.0%		
夢や目標をもっている児童生徒の割合	小学生 79.7% 中学生 68.0%		全国平均以上かつ増加		
未来応援サポート事業者数	新規事業のため 現状値なし		25事業者		

ふるさと <small>hometown</small> ふるさとを誇れる道					
成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
四街道を好きと感じる人の割合	74.7% (令和3年度)		76.0%		
四街道市をふるさとであると感じる児童生徒の割合	小学生 72.3% 中学生 64.1%		小学生 79.2% 中学生 74.5%		
観光入込客数	97,361人		117,408人		

子ども <small>children</small> こどもがまんなかの道					
成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
子育てしやすいと感じる人の割合	80.1%		84.1%		
合計特殊出生率	1.43 (令和3年度)		1.58		
予定している子どもの人数 (子育て世帯)	2.08人		現状値以上		

人 <small>citizen</small> 人によりそうやさしい道					
成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
住み良いと感じる人の割合	79.0% (令和3年度)		82.0%		
毎日を健やかに充実して暮らせていると感じる市民の割合	80.5%		81.0%		
現在お住まいの地域との関わりについて、満足している市民の割合	67.1% (令和2年度)		72.0%		

四街道市総合計画第1期基本計画進行管理（令和6年度）分野別政策成果指標の進捗状況

分野 ^{sector} 安全・安心					
政策 ^{policy} 災害リスクを想定した防災対応力を向上させる					
成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
政策の推進度	調査未実施のため 現状値なし		中間年度の数値を 上回る		
民間企業との連携数	82件		105件		
避難所運営委員会の設置	4組織		16組織		
指定福祉避難所の指定箇所数	指定箇所なし		14か所		

政策 ^{policy} 安全・安心な暮らしを守る					
成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
政策の推進度	調査未実施のため 現状値なし		中間年度の数値を 上回る		
住宅用火災警報器設置率	69.0%		74.0%		
救命講習の参加人数	954人		1,502人		
刑法犯認知件数	496件		現状値以下		

政策 ^{policy} 災害に強い都市基盤を整備する					
成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
政策の推進度	調査未実施のため 現状値なし		中間年度の数値を 上回る		
水道管路の耐震化率	37.2%		41.2%		
排水路の整備延長	98m		180m		

四街道市総合計画第1期基本計画進行管理（令和6年度）分野別政策成果指標の進捗状況

分野 ^{sector} 健康・福祉・子育て					
政策 ^{policy} いつまでも健やかに暮らすための環境を構築する					
成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
政策の推進度	調査未実施のため 現状値なし		中間年度の数値を 上回る		
1歳6か月児健康診査の受診率	98.0%		現状値以上		
大腸がん検診受診率	10.1%		23.5%		
麻しん・風しん混合（MR）ワクチン1期の完了率	98.2%		現状値以上		

政策 ^{policy} みんなで支え合う福祉環境を整備する					
成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
政策の推進度	調査未実施のため 現状値なし		中間年度の数値を 上回る		
フレイルありの割合	20.6%		19.6%以下		
障がいのある人が暮らしやすいと感じる割合	調査未実施のため 現状値なし		令和6年度実施予定の 調査の数値を上回る		
ボランティアセンターの登録者数	2,222人		2,454人		

政策 ^{policy} 子育てをみんなで応援する					
成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
政策の推進度	調査未実施のため 現状値なし		中間年度の数値を 上回る		
赤ちゃんの駅の登録件数	14施設		20施設		
地域と連携した子どもの居場所の数	15か所		現状値以上		
待機児童数	0人		0人		

四街道市総合計画第1期基本計画進行管理（令和6年度）分野別政策成果指標の進捗状況

分 ^{sector} 野 教育・文化・スポーツ					
政 ^{policy} 策 一人ひとりの個性を活かして学校教育を推進する					
成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
政策の推進度	調査未実施のため 現状値なし		中間年度の数値を 上回る		
小学校における外国語科の実施 に対する保護者の満足度	56.4%		56.9%		
全国学力・学習状況調査におけ る平均正答率	小学6年生 全国平均とほぼ同じ 中学3年生 全国平均をやや下回る		全国平均以上		

政 ^{policy} 策 子どもの健全な成長を支える					
成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
政策の推進度	調査未実施のため 現状値なし		中間年度の数値を 上回る		
コミュニティ・スクール導入校 数	1校		17校		
「こども110番の家」新規登録 件数	73件		116件		
青少年育成支援に関するイベン トの参加者数	27人		70人		

政 ^{policy} 策 生きがいつくりの環境を整備する					
成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
政策の推進度	調査未実施のため 現状値なし		中間年度の数値を 上回る		
市民大学講座の受講者数	73人		123人		
市民文化祭の参加者数	5,767人		27,081人		
週1回以上の運動実施率	58.8%		67.3%		

四街道市総合計画第1期基本計画進行管理（令和6年度）分野別政策成果指標の進捗状況

分野 ^{sector} 暮らし・環境					
政策 ^{policy} 住み良さを実感できる環境を整備する					
成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
政策の推進度	調査未実施のため 現状値なし		中間年度の数値を 上回る		
市民の住環境についての満足度	72.2% (平成26年度)		82.0%		
空家数	275棟		現状値以下		

政策 ^{policy} 安心して利用できる道路交通基盤を整備する					
成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
政策の推進度	調査未実施のため 現状値なし		中間年度の数値を 上回る		
バリアフリー化した歩道整備数	5件		7件		
交道路線数	18路線		18路線		

政策 ^{policy} 地球にやさしい地域社会を構築する					
成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
政策の推進度	調査未実施のため 現状値なし		中間年度の数値を 上回る		
市域からの二酸化炭素総排出量	415千t-CO2 (令和2年度)		265千t-CO2		
自然環境保全活動ボランティア 参加人数	47人		180人		
1人1日あたりのごみ排出量	765g		755g以下		

四街道市総合計画第1期基本計画進行管理（令和6年度）分野別政策成果指標の進捗状況

分野 ^{sector} にぎわい・共創					
政策 ^{policy} 地理的優位性を活かした地域経済の活性化を推進する					
成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
政策の推進度	調査未実施のため 現状値なし		中間年度の数値を 上回る		
事業所数	2,370所 (令和3年度)		2,489所		
就業者数	10,277人 (令和2年度)		10,791人		
認定農業者数	31団体		33団体		

政策 ^{policy} 地域の魅力を磨き上げPRする					
成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
政策の推進度	調査未実施のため 現状値なし		中間年度の数値を 上回る		
親子イベント参加者数	新規事業のため 現状値なし		550人(累計)		
プレスリリース数	75件		93件		

政策 ^{policy} みんなで創るまちづくりを推進する					
成果指標	現状値 (令和4年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)	進捗状況	備考
政策の推進度	調査未実施のため 現状値なし		中間年度の数値を 上回る		
「コラボ四街道」による協働事業件数	18件(累計)		40件(累計)		
ふるさとまつり参加団体数	22団体		56団体		
男女の地位は現在において平等 になっていると思う市民の割合	女性 9.1% 男性 20.9% (令和2年度)		女性 25.0% 男性 35.0%		

四街道市総合計画第1期基本計画進行管理（令和6年度）実施計画事業

分	sector 野 健康・福祉・子育て
政	policy 策 子育てをみんなで応援する

様式説明

No.	事業名／（予算事業名）	担当課等	計画事業費（千円）	
2061601	YOTSU [♥] LOVE事業 （まち・ひと・しごと創生推進事業）	政策推進課	令和6～10年度	3,125
			前期実施計画	1,875
施策	子育て支援の推進	主な取組	若者の結婚支援	
事業概要	結婚を希望する若い世代の結婚活動を支援するため、デジタル技術を活用した仮想空間において、出会いの場を創出します。			
主な事業内容	実施結果（令和6年度）／【計画事業費決算額】		実施予定（令和6年度）／【計画事業費】	
	○婚活イベントの実施（1回）	604	○婚活イベントの実施	625
計画事業費	合計		合計	
	604		625	
推進力（エンジン）の活用状況	市民協働		推進力（エンジン）の活用予定	
	シティプロモ	○	シティプロモ	○
	公民連携		公民連携	○
	デジタル化	○	デジタル化	○
実施状況	●：計画どおり		備考	【参考】主要施策成果報告書P〇〇（〇〇）

【計画事業費】：新規事業等に係る経費及び普通建設費などの投資的経費を指します。
※「-」となっている事業は、計画事業費の計上がありません。

全事業286事業のうち計画事業費に関連する事業は85事業（うち再掲10事業）

【主な事業内容】

- ・実施予定（令和6年度）は、前期実施計画に記載された主な事業内容のうち令和6年度に実施予定のもの
- ・実施結果（令和6年度）は、令和6年度に実施した主な事業内容
- ：第1期基本計画において、新規・拡充の事業内容と位置付けた事業内容
- ：前総合計画から引き続き実施している事業内容
- ◎：計画を上回る取組に係る事業内容

【推進力（エンジン）】の活用予定：計画に基づく施策をより効果的に進めるまちづくりの推進力（エンジン）のうち活用を予定しているもの

《まちづくりの推進力（エンジン）》

（市民協働） 市民協働	地域ごとのさまざまな課題への対応にあたっては、市民をはじめとした地域の担い手と連携・協力した共創のまちづくりにより、各施策を効果的に推進します。
（公民連携） 公民連携	行政と民間事業者や大学などが連携し、それぞれが持つさまざまな強み（技術・知識・ノウハウ・資本等）を活かした共創のまちづくりにより、各施策を効果的に推進します。
（デジタル化） デジタル化	日々進化し続けるデジタル技術を効果的に活用し、市民サービスの向上や効率的な行財政運営を図り、各施策を効果的に推進します。
（シティプロモ） シティプロモーション	四街道市の価値をさらに高め、認知度向上や交流人口・関係人口の増加につなげるため、地域資源をはじめ、さまざまな市の魅力的な取組を積極的に発信することにより、各施策を効果的に推進します。

【実施状況】：令和6年度の実施状況について、次の5つの区分で判定

◎：完了	前期実施計画で予定されている主な事業内容が完了した。 ※完了した事業にあってもさらなる推進に取り組みます。	○：計画を上回る	令和6年度において、予定されていた主な事業内容を全て実施し、かつ、新規・拡充の取組があった。又は前倒しで実施した。
●：計画どおり	令和6年度において、予定されていた主な事業内容を全て実施した。又はできなかった事業内容の代替となる事業内容の実施があった。	▲：計画に遅れ	令和6年度において、予定されていた主な事業内容のうち、実施できなかったものがあった。
-：評価対象外	令和6年度において、予定されていた主な事業内容がなかった。		

【備考】：事業内容に係る主要施策成果報告書の頁・事業番号。事業内容に変更等がある場合にその内容を記載。

四街道市総合計画第1期基本計画進行管理（令和6年度）実施計画事業の進捗状況

分 sector 野 健康・福祉・子育て											
政 policy 策 子育てをみんなで応援する											
No.	事業名／（予算事業名）				担当課等		計画事業費（千円）				
2061601	YOTSU●LOVE事業 （まち・ひと・しごと創生推進事業）				政策推進課		令和6～10年度	3,125			
							前期実施計画	1,875			
施策	子育て支援の推進				主な取組	若者の結婚支援					
事業概要	結婚を希望する若い世代の結婚活動を支援するため、デジタル技術を活用した仮想空間において、出会いの場を創出します。										
主な事業内容	実施結果（令和6年度）／【計画事業費決算額】				実施予定（令和6年度）／【計画事業費】						
	○婚活イベントの実施（1回）		604		○婚活イベントの実施			625			
計画事業費	合計				604		合計			625	
推進力（エンジン）の活用結果	市民協働		公民連携	○	推進力（エンジン）の活用予定	市民協働		公民連携	○		
	シティプロモ	○	デジタル化	○		シティプロモ	○	デジタル化	○		
実施状況	●：計画どおり		備考		【参考】主要施策成果報告書P〇〇（〇〇）						
No.	事業名／（予算事業名）				担当課等		計画事業費（千円）				
2061602	結婚新生活応援事業 （まち・ひと・しごと創生推進事業）				政策推進課		令和6～10年度	447			
							前期実施計画	447			
施策	子育て支援の推進				主な取組	若者の結婚支援					
事業概要	市のイメージアップを図り、若い世代の定住促進につなげるため、転入された方や結婚する二人の思い出に残るような記念フォトブースを市役所庁舎に設置します。また、若者の結婚に伴う経済的な支援を行うため、結婚を機に市内で新生活をはじめめる新婚夫婦を支援します。										
主な事業内容	実施結果（令和6年度）／【計画事業費決算額】				実施予定（令和6年度）／【計画事業費】						
	○記念フォトブースの設置 【PR大使と公民連携して設置】		440		○記念フォトブースの設置			447			
	●結婚新生活応援事業補助金の交付（20件）		-		●結婚新生活応援事業補助金の交付			-			
	◎結婚新生活応援事業補助金の拡充		-								
計画事業費	合計				440		合計			447	
推進力（エンジン）の活用状況	市民協働		公民連携	○	推進力（エンジン）の活用予定	市民協働		公民連携	○		
	シティプロモ	○	デジタル化	○		シティプロモ	○	デジタル化	○		
実施状況	○：計画を上回る		備考		結婚新生活応援事業補助金につき、特定地域（千代田地区）への移住への優遇措置を行った。 【参考】主要施策成果報告書P〇〇（〇〇）						

(案)

第2期
四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略
総括評価



千葉県の笑くぼ

四街道市 令和6年 月

1. はじめに

第2期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第2期総合戦略」という。）は、将来的な人口減少社会の克服や持続可能な地域づくりを実現するため、前四街道市総合計画後期基本計画との整合性を図るとともに、第1期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略を見直し、策定したものであり、令和2年度から令和6年度までの5年間を対象として、地方創生の取組の推進を図ってきました。

2. 第2期総合戦略の総括

第2期総合戦略では、目指すべき将来の方向を定め、令和6年度に実現すべき成果を重視した数値目標として基本目標に8指標、具体的な施策に重要業績指標（KPI）として32指標を設定しており、計40の指標について、次のとおり総括を行いました。

指標の進捗状況【全体】							
	評価基準	全指標		基本目標 《目標値》	施策 《KPI》		
①	目標達成に向け進捗	20	(50.0%)	2	(25.0%)	18	(56.3%)
	A 現時点で目標を達成	15	(37.5%)	2	(25.0%)	13	(40.6%)
	B 現時点では目標を達成していない	5	(12.5%)	0	(0.0%)	5	(15.6%)
②	目標達成に向け進捗していない	18	(45.0%)	6	(75.0%)	12	(37.5%)
③	その他	2	(5.0%)	0	(0.0%)	2	(6.3%)
合計		40		8		32	

【第2期総合戦略の成果】

第2期総合戦略では、「選ばれるまちづくり」「未来につなぐまちづくり」「賑わいあふれるまちづくり」「幸せささえるまちづくり」の4つのまちづくりを進めた結果、子育て世代を中心とした転入超過の継続により、令和6年10月の常住人口は、94,802人と、令和2年2月改訂の人口ビジョンにおける将来人口シミュレーションの令和7年94,091人を上回る人口規模となり、人口減少社会の克服や持続可能な地域づくりの実現に、一定の成果を上げることができました。

また、合計特殊出生率は、地方創生の取組の推進により平成27年から上昇傾向となり、令和2年には1.50と近年で最も高い数値となり、以降も国・県を上回る数値で推移しています。

しかし、第2期総合戦略の計画初年度である令和2年度から4年度にかけては、特に新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、目標達成に向け進捗している指標は50%にとどまっています。

【今後の課題】

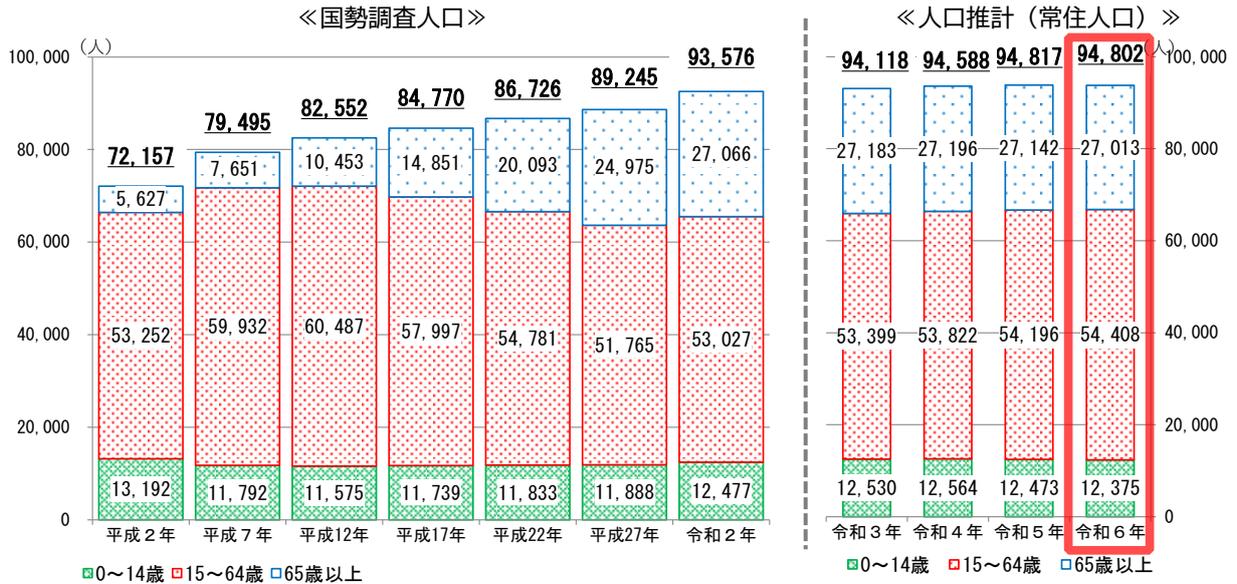
四街道市の人口は、令和2年2月改訂の人口ビジョンにおける将来人口シミュレーションにおいて、令和12年に94,209人と人口のピークを迎える見込みとなっていました。令和6年10月の常住人口が94,802人となり、令和5年同月の常住人口である94,817人から減少しており、市は人口のピークを7年程度早く迎え、人口減少局面に入りつつあります。

また、合計特殊出生率は、国・県を上回る数値で推移しているものの新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、令和3年、4年と低下しており、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えるため、さらなる取組の推進が必要となっています。

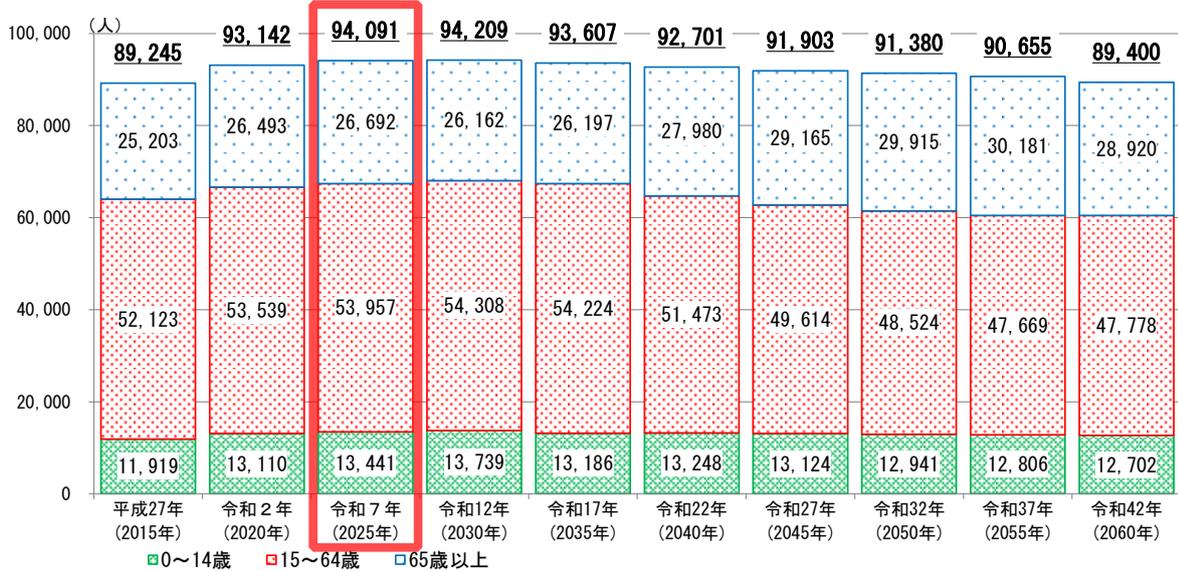
【第3期総合戦略の策定に向けて】

今後の地方創生の推進にあたっては、新型コロナウイルス感染症を契機に進化が進んだデジタル技術も活用しながら、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えるための取組のさらなる推進などといった人の幸せに着目した持続可能なまちづくりについて、四街道市総合計画第1期基本計画HAPPY SMILE PLANと一体となって、数値目標やKPIについて実効性の高い項目を設定の上、第3期総合戦略において取り組んでいきます。

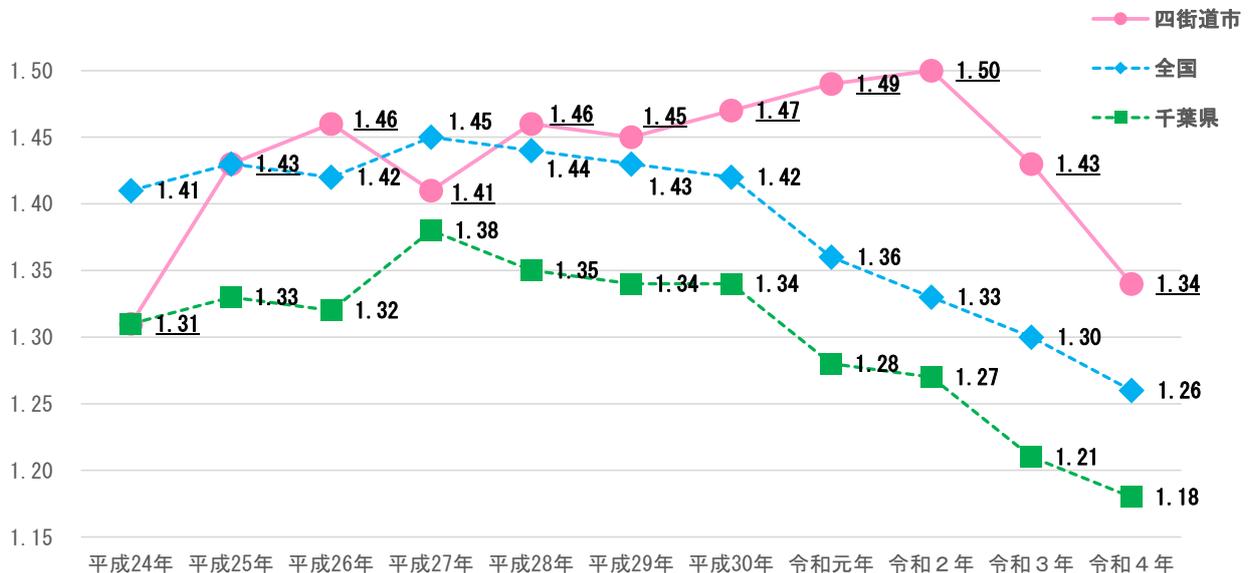
【図 人口推移】(出典：国勢調査〔左図〕／人口推計・住民基本台帳(常住人口)〔右図〕 各年 10月1日)



【図：将来人口シミュレーション (出典：四街道市人口ビジョン令和2年2月改訂)】



【図：合計特殊出生率 (千葉県HP)】



3. 基本目標ごとの進捗状況

【基本目標1 “選ばれる”まちづくり ～四街道市への人の流れを創る～】

	評価基準	全指標	基本目標 《目標値》	施策 《KPI》
①	目標達成に向け進捗	6 (60.0%)	0 (0.0%)	6 (75.0%)
	A 現時点で目標を達成	4 (40.0%)	0 (0.0%)	4 (50.0%)
	B 現時点では目標を達成していない	2 (20.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)
②	目標達成に向け進捗していない	3 (30.0%)	2 (100.0%)	1 (12.5%)
③	その他	1 (10.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)
合計		10	2	8

【目標値・KPI 進捗状況】

区分	名称	戦略策定時 現状値	令和5年度	令和6年度 (目標値)	進捗	備考
目標値	転入者数	3,739人 (H30年)	3,218人	現状値を維持	②	※新型コロナウイルス感染症の影響も考えられる
目標値	転入者に占める子育て世代(0歳から49歳)の転入者の割合	86.7% (H30年)	82.8%	現状値を維持	②	※新型コロナウイルス感染症の影響も考えられる
KPI	市の認知率	64.2% (H28年度)	-	現状値より10%増加	③	※調査対象を変更したため、比較可能な数値なし
KPI	プレスリリース数(累計)	61件 (H30年度)	243件	250件 (R2-6年度)	①B	
KPI	補助金交付終了後も引き続き活動している団体数(コラボ四街道)	33団体 (H30年度)	42団体	38団体	①A	
KPI	区・自治会加入率	67.3% (H31年4月1日)	58.1% (R6年4月1日)	69.0%	②	※R6年度中に自治会加入に関するアンケート調査を実施し、加入率向上に向けた課題の洗い出しを行う
KPI	四街道を好きと感じる人の割合	73.4% (H28年度)	74.7% (R3年度)	現状値より増加	①A	
KPI	住み続けたいと思う人の割合	76.3% (H28年度)	77.3% (R3年度)	現状値より増加	①A	
KPI	ふるさと寄附件数(累計)	411件 (H30年度)	3,971件	2,000件 (R2-6年度)	①A	
KPI	□ケーション撮影数(累計)	4件 (H30年度)	17件	20件 (R2-6年度)	①B	

【主な取組】

- ・PR横断幕の設置、PRパンフレットの配布、PR大使の任命・連携
- ・ふるさと寄附を通じた特産品のPR、企業版ふるさと納税の活用
- ・まち撮り四街道事業の実施
- ・コラボ四街道による市民活動の支援
- ・みんなで地域づくりセンターの運営
- ・ふるさとの味お届け便の実施(R3・R6予定)
- ・市制施行40周年記念写真集の発行
- ・都市公園における民間活用の実施(R6)
- ・フィルムコミッションの誘致

【基本目標2 “未来につなぐ” まちづくり ～結婚・出産・子育ての希望をかなえる～】

	評価基準	全指標		
		基本目標 ≪目標値≫	施策 ≪KPI≫	
①	目標達成に向け進捗	5 (50.0%)	1 (50.0%)	4 (50.0%)
	A 現時点で目標を達成	4 (40.0%)	1 (25.0%)	3 (43.8%)
	B 現時点では目標を達成していない	1 (10.0%)	0 (0.0%)	4 (12.5%)
②	目標達成に向け進捗していない	5 (50.0%)	1 (50.0%)	4 (50.0%)
③	その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計		10	2	8

【目標値・KPI 進捗状況】

区分	名称	戦略策定時 現状値	令和5年度	令和6年度 (目標値)	進捗	備考
目標値	年少人口	12,624人 (H31年)	12,767人 (R6年1月1日)	現状値より増加	①A	
目標値	出生数	685人 (H30年)	617人	現状値より増加	②	※新型コロナウイルス感染症の影響も考えられる
KPI	婚姻件数	350件 (H30年)	298件	現状値より増加	②	※新型コロナウイルス感染症の影響も考えられる
KPI	結婚を機に本市で新生活をはじめ若い世代を支援した件数(累計)	-	77件	15件 (R2-6年度)	①A	
KPI	待機児童数	0人 (R6年4月1日)	0人 (R6年4月1日)	0人	①A	
KPI	就業者に占める女性の割合	42.2% (H27年)	43.2% (R2年)	現状値より増加	①A	
KPI	赤ちゃんの駅登録数	-	14か所	20か所	①B	
KPI	「こども110番の家」登録件数	2,946件 (H30年度)	2,834件	3,000件	②	※協力家庭の高齢化に伴い減少傾向
KPI	将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合	小学生 85.0% 中学生 68.2% (H30年度)	小学生 81.4% 中学生 66.8%	現状値より増加	②	※新型コロナウイルス感染症の影響も考えられる なお、R6年度は小学生 86.2% 中学生 68.6% と①Aに該当
KPI	英語検定3級程度の取得率(中学校卒業まで)	45.5% (H30年度)	34.3%	現状値より増加	②	※新型コロナウイルス感染症等の影響により受験率が低下していたが、R6年度は受験率上昇見込み

【主な取組】

- ・新婚世帯の新生活に係る費用への支援、記念フォトブースの設置 (R6)
- ・高校3年生まで子ども医療費助成を拡充 (R5)
- ・保育所等整備に対する補助や病児・病後児保育の実施
- ・全小学校でこどもルームを運営
- ・赤ちゃんの駅の認定
- ・小中一貫教育の推進、全小学校に少人数指導教員を配置
- ・義務教育9年間を見通した外国語教育の実施
- ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等による教育相談の実施
- ・各中学校に校内教育支援センターの設置

【基本目標3 “賑わいあふれる” まちづくり ～地域における安定した雇用を確保する～】

	評価基準	全指標	基本目標 ≪目標値≫	施策 ≪KPI≫
①	目標達成に向け進捗	3 (37.5%)	0 (0.0%)	3 (50.0%)
	A 現時点で目標を達成	1 (12.5%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)
	B 現時点では目標を達成していない	2 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)
②	目標達成に向け進捗していない	5 (62.5%)	2 (100.0%)	3 (50.0%)
③	その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計		8	2	6

【目標値・KPI 進捗状況】

区分	名称	戦略策定時 現状値	令和5年度	令和6年度 (目標値)	進捗	備考
目標値	就業者数	39,698人 (H27年)	38,254人 (R2年)	現状値より増加	②	※新型コロナウイルス感染症の影響も考えられる
目標値	事業所数	2,399所 (H28年)	2,370所 (R3年)	現状値を維持	②	※新型コロナウイルス感染症の影響も考えられる
KPI	空き店舗等の活用を支援した件数(累計)	2件 (H30年度)	4件	10件 (R2-6年度)	①B	
KPI	創業を支援した件数(累計)	4件 (H30年度)	8件	10件 (R2-6年度)	①B	
KPI	農業に関する付加価値額	79百万円 (H28年)	49百万円 (R3年)	現状値より増加	②	※担い手の高齢化等に伴い減少傾向
KPI	市内の認定農業者(団体)の数	33件 (H30年度)	32件	35件	②	※担い手の高齢化等に伴い減少傾向
KPI	他自治体と連携し、就業を支援した人数	59人 (H30年度)	1人	現状値より増加	②	※新型コロナウイルス感染症の影響によりセミナー等が開催縮小傾向
KPI	就労者に占める高齢者の割合	12.1% (H27年)	13.5% (R2年)	現状値より増加	①A	

【主な取組】

<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地促進基本方針の策定 ・企業立地促進に関する支援制度の創設 ・中心市街地活性化に向けた空き店舗の活用支援 ・商工会等と連携した創業支援 ・行政が保有する各種オープンデータの整備・公開 ・新規就農者や認定農業者への支援 ・農地バンクの活用奨励 ・市民親子収穫体験講座の開催 ・就労支援のためのセミナーの開催 ・シルバー人材センターの活動支援
--

【基本目標4 “幸せさえる” まちづくり ～安心で快適な暮らしを守る～】

	評価基準	全指標		
		基本目標 ≪目標値≫	施策 ≪KPI≫	
①	目標達成に向け進捗	6 (50.0%)	1 (50.0%)	5 (50.0%)
	A 現時点で目標を達成	6 (50.0%)	1 (50.0%)	5 (50.0%)
	B 現時点では目標を達成していない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
②	目標達成に向け進捗していない	5 (41.7%)	1 (50.0%)	4 (40.0%)
③	その他	1 (8.3%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)
合計		12	2	10

【目標値・KPI 進捗状況】

区分	名称	戦略策定時 現状値	令和5年度	令和6年度 (目標値)	進捗	備考
目標値	四街道が住み良いと感じる人の割合	76.1% (H28年度)	79.0% (R3年度)	現状値より増加	①A	
目標値	社会増減数(転入者数－転出者数)	829人 (H30年)	351人 ※自然減:430人	自然減を上回る 社会増を維持	②	※新型コロナウイルス感染症の影響も考えられる
KPI	特定健康診査の受診率	36.5% (H30年度)	26.1%	43.0%	②	※新型コロナウイルス感染予防の観点から集団健診の受診控え等の影響も考えられる
KPI	成人の週1回以上のスポーツ実施率	51.4% (H29年度)	58.8% (R4年度)	現状値より増加	①A	
KPI	市民の住環境についての満足度	72.2% (H26年度)	-	80.0%	③	※R6年度実施予定のため実績値なし
KPI	一戸建て空き家率 ^{注釈}	3.9% (H30年)	7.7%	現状値より減少	②	※一戸建ての全体件数も増加傾向
KPI	新たに検討した広域連携事業数(累計)	-	11件	5件 (R2-6年度)	①A	
KPI	経常収支比率	96.4% (H30年度)	90.5%	95.0%	①A	
KPI	防災備蓄食料の充足率	100% (H30年度)	100%	100%	①A	
KPI	消防団員数	251人 (H31年4月1日)	224人 (R6年4月1日)	現状値より増加	②	※担い手の高齢化等に伴い減少傾向
KPI	刑法犯認知件数(四街道警察署管内)	683件 (H30年)	618件	現状値より減少	①A	
KPI	青色回転灯装着車両による防犯パトロールの実施回数	837回 (H30年度)	715回	現状値を維持	②	※一部車両故障の影響等により減少傾向

注釈 一戸建て空き家率…住宅・土地統計調査より

【主な取組】

- ・健康づくりにつながるインセンティブの活用(よつも！)
- ・個別健診や産後ケアの充実
- ・千代田地域包括支援センター開設(R4)
- ・移動支援に向けてグリーンスローモビリティの導入・実証実験(R3)
- ・家庭系ごみ処理手数料制度の導入(R2)
- ・市HPにチャットボットを導入(R2)
- ・自主防災組織等への支援の充実
- ・防災情報SNSアカウント運用開始(R2)
- ・犯罪被害者等支援条例の制定、施行(R5)

(案)

四街道市
企業版ふるさと納税総括
(令和3年度～令和6年度)



四街道市 令和6年 月

四街道市企業版ふるさと納税総括

【はじめに】

四街道市は地方創生の取組の一つとして、「四街道市まち・ひと・しごと創生推進計画」を策定し、地方応援税制（企業版ふるさと納税）の認定を受けて、令和3年度から企業の皆様のご支援を受けながら、総合計画（後期基本計画・第1期基本計画HAPPY SMILE PLAN）や総合戦略（第2期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略）に基づく地方創生の取組を推進してきました。

この度、「四街道市まち・ひと・しごと創生推進計画」の計画期間が令和7年3月31日に満了することから、企業版ふるさと納税（令和3年度～令和6年度）について、以下のとおり総括を行います。

【寄附受入実績】

基本目標1 “選ばれる”まちづくり～四街道市への人の流れを創る～				
寄附受入事業数(延べ)	寄附企業件数	事業費決算額(円)	寄附受入金額(円)	寄附金充当率
6事業	8社	12,083,775	5,450,000	45.1%
基本目標4 “幸せさえる”まちづくり～安心で快適な暮らしを守る～				
寄附受入事業数(延べ)	寄附企業件数	事業費決算額(円)	寄附受入金額(円)	寄附金充当率
3事業	4社	42,364,030	8,336,000	19.7%
合 計				
寄附受入事業数(延べ)	寄附企業件数	事業費決算額(円)	寄附受入金額(円)	寄附金充当率
9事業	12社	54,447,805	13,786,000	25.3%

【総括】

四街道市では、令和3年度から企業版ふるさと納税の活用を開始して、延べ9事業に12社から計13,786,000円の寄附をいただき、地方創生に資する取組を効果的に推進してきました。

年度別にみると、令和3年度には6事業に8社から計11,336,000円、令和4年度には2事業に2社から計2,000,000円、令和5年度には1事業に2社から計450,000円の寄附をいただきました。

また、寄附を受け入れた事業の内訳は、市のPRや観光に関する延べ6事業に計5,450,000円、地域公共交通に関する延べ2事業に計7,000,000円、福祉に関する1事業に計1,336,000円と、幅広い事業に寄附をいただくことで、地方創生に関する取組の推進につながりました。

令和6年度につきましても、現在寄附を募集しているところですが、国の調査結果によると企業版ふるさと納税を活用している地方公共団体の数は、令和3年度の956から令和5年度には1,462となり、約1.5倍に増加している中、四街道市の企業版ふるさと納税の寄附受入実績は減少傾向となっています。

このため、総合計画第1期基本計画HAPPY SMILE PLANにおける4つのまちづくりの推進力（エンジン）の1つとして設定している公民連携の観点を踏まえ、今後、企業版ふるさと納税のポータルサイトを活用することで、寄附検討企業への効果的なアプローチを図るなど、引き続き、民間事業者と連携した地方創生の推進を図ります。

令和3年度受入実績

基本目標1 “選ばれる”まちづくり～四街道市への人の流れを創る～							
担当部署	事業名称	事業内容	事業費 決算額(円)	寄附受入額 (円)	寄附企業		事業効果
					内訳(円)	寄附企業	
政策推進課	“選ばれる”まちづくりをめざしたシティセールス推進事業	PRパンフレットを市内外の店舗やパーキングエリアに配架するとともに、引き続き積極的にプレスリリースを行っていく。また、東関東自動車道にかかる陸橋に市のPR横断幕を設置する。	439,891	430,000	430,000	非公表	ターゲットエリアの方が多く利用する、市外の商業施設や宿泊施設、京葉道路の幕張パーキングエリア等にPRパンフレットを配架するとともに、東関東自動車道にかかる陸橋に市のPR横断幕を掲出することで効率的に市の魅力を発信することができた。 また、各分野で活躍されている方を四街道市PR大使として6名委嘱し、各種メディアを通じて効率的に情報を発信することができ、「四街道市への人の流れを創る事業」に効果があった。
管財課	大土手山手摺設置に関する事業	大土手山を安全にご利用いただくため、階段両側に手摺を設置する。	1,760,000	1,760,000	1,760,000	非公表	大土手山の階段両側に手摺を設置し、安全性と快適性を向上することができ、より多くの市民や利用者が大土手山に登ることができるようになったことから、「四街道市への人の流れを創る事業」に効果があった。
社会教育課	市制施行40周年記念写真集作成事業	市史編さん基本方針・刊行計画に基づき、市制施行40周年記念の写真集を刊行する。	1,031,250	280,000	280,000	非公表	地域の人々が守り伝えてきた地域史料を次世代に引き継いでいくため、史料の収集整理を実施し、市制施行40周年記念の写真集を発刊することで、「四街道市への人の流れを創る事業」の地域への愛着やふるさと意識の醸成に効果があった。
政策推進課	シティセールスロゴマーク制作事業	四街道市の魅力や特徴などをあらわしたキャッチコピーとマークを組み合わせてデザインされたシティセールスロゴマークを制作する。	2,034,900	2,030,000	70,000	非公表	市外に四街道の魅力を視覚的に伝えるシティセールスロゴマークは、様々なシティセールスの取り組みの統一的な印となり、よりシティセールスを推進するものであり、「四街道市への人の流れを創る事業」に効果があった。
					1,960,000	非公表	
基本目標4 “幸せさえる”まちづくり～安心で快適な暮らしを守る～							
政策推進課	地域公共交通の課題解決に向けたデマンド型交通導入事業	千代田地区にてグリーンスローモビリティを活用し、デマンド型乗合交通として実証実験を行い、効果を検証する。	5,777,738	5,500,000	5,500,000	株式会社ユニバーソフトティア	グリーンスローモビリティを活用した実証実験を行い、路線バスへの補完及び地域コミュニティ増進等を図り、「安心で快適な暮らしを守る事業」に効果があった。
高齢者支援課	(仮)四街道市千代田地域包括支援センター設置事業	介護サービスや日常生活支援の相談に応じる総合相談窓口である地域包括支援センターを整備することにより、高齢者やその家族等が住み慣れた地域で生活を続けられるように体制整備を行う。	30,740,000	1,336,000	736,000	非公表	高齢者やその家族等の生活支援の中核拠点である、地域包括支援センターを新たに開設するための物件を取得したことで、「安心で快適な暮らしを守る事業」に効果があった。
					600,000	明治安田生命保険相互会社千葉支社	

※寄附企業名について、企業が公表を希望されない場合、非公表と記載しています。

令和4年度受入実績

基本目標1 “選ばれる”まちづくり～四街道市への人の流れを創る～							
担当部署	事業名称	事業内容	事業費 決算額(円)	寄附受入額 (円)	寄附企業		事業効果
					内訳(円)	寄附企業	
政策推進課	“選ばれる”まちづくりをめざしたシティセールス推進事業	本市が持つさまざまな魅力を積極的に市内外に発信することにより、本市の認知度を向上させるとともに、イメージをアップさせる。	1,222,914	500,000	500,000	非公表	ターゲットエリアの方が多く利用する、市外の商業施設や宿泊施設、京葉道路の幕張パーキングエリア等にPRパンフレットを配架するとともに、東関東自動車道にかかる陸橋に市のPR横断幕を掲出することで効果的に市の魅力を発信することができた。 また、各分野で活躍されている四街道市PR大使6名の等身大パネルの作成や、新しいシティセールスロゴマークを活用したグッズの制作・配布を行うことで、効率的に情報を発信することができ、「四街道市への人の流れを創る事業」に効果があった。
基本目標4 “幸せささえる”まちづくり～安心で快適な暮らしを守る～							
政策推進課	地域公共交通の課題解決に向けた交通システム構築事業	デマンド型乗合交通から定時定路線運行に変更し、千代田地区における地域公共交通の課題解決のため、路線バスへの補完を主目的とし、併せて地域のコミュニティ増進等への効果も検証する。	5,846,292	1,500,000	1,500,000	非公表	グリーンスローモビリティを活用した実証実験を行い、バス停までの移動支援による既存バス路線への利用促進に加え、近くの商業施設等への移動支援による地域の活性化を図り、「安心で快適な暮らしを守る事業」に効果があった。

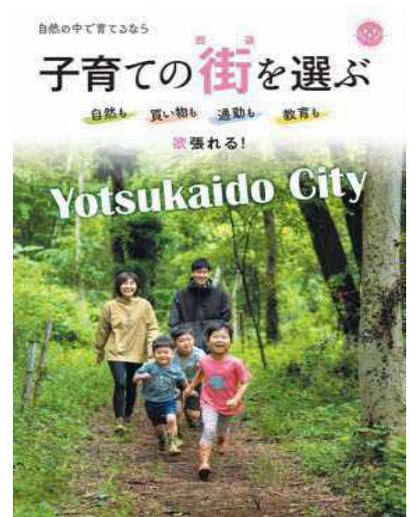
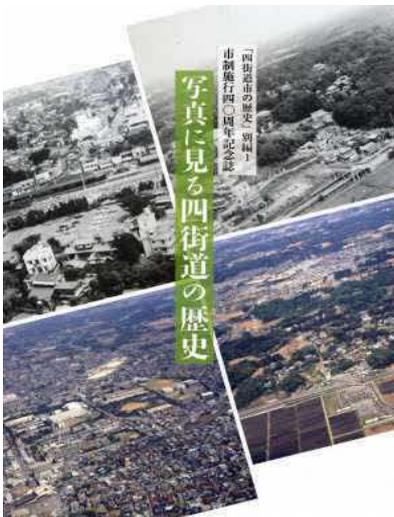
令和5年度受入実績

基本目標1 “選ばれる”まちづくり～四街道市への人の流れを創る～							
担当部署	事業名称	事業内容	事業費 決算額(円)	寄附受入額 (円)	寄附企業		事業効果
					内訳(円)	寄附企業	
政策推進課	“選ばれる”まちづくりをめざしたシティセールス推進事業	本市が持つさまざまな魅力を積極的に市内外に発信することにより、本市の認知度を向上させるとともに、イメージをアップさせる。	5,594,820	450,000	300,000	阪神金属興業株式会社	ターゲットエリアの方が多く利用する、市外の商業施設や宿泊施設、京葉道路の幕張パーキングエリア等にPRパンフレットを配架するとともに、東関東自動車道にかかる陸橋に市のPR横断幕を掲出することで効果的に市の魅力を発信することができた。 また、各分野で活躍されている四街道市PR大使8名の等身大パネルの作成や、新しいシティセールスロゴマークを活用したグッズの制作・配布を行うことで、効率的に情報を発信することができ、「四街道市への人の流れを創る事業」に効果があった。
					150,000	非公表	

※寄附企業名について、企業が公表を希望されない場合、非公表と記載しています。

令和6年度募集内容

基本目標1 “選ばれる”まちづくり～四街道市への人の流れを創る～			
担当部署	事業名称	事業概要	募集金額(円)
政策推進課	“選ばれる”まちづくりをめざしたシティセールス推進事業	本市は、居住地としての魅力・優位性を有しており、千葉県内では一定水準の認知度を獲得しつつあるものの、東京圏における認知度は十分とは言えません。そのため、市内外に向けて様々な媒体を活用して情報を発信し、認知度の向上を図り、居住地としての魅力を積極的にPRしています。 令和6年度は、四街道市PR大使のイベント出演や、写真パネルの制作、PR用ロゴマークを活用したグッズの制作、高速道路上の陸橋へのPR横断幕の掲出、PRパンフレットの高速道路パーキングエリア内への配架等を実施します。	1,200,000
政策推進課	“未来につなぐ”まちづくりをめざしたメモリアルフォトブース事業	本市の有配偶率は、全国平均を上回っているものの、婚姻率においては、全国平均を下回っており、減少傾向が続いています。 このため、若い世代の転入や定住促進を図るため、結婚の機運を高める取組として、結婚した方やお子さんが生まれた方等の思い出の瞬間をかたちに残していただけるよう、市役所庁舎にメモリアルフォトブースを設置します。	300,000



企業版ふるさと納税 令和3年度事業実施報告書

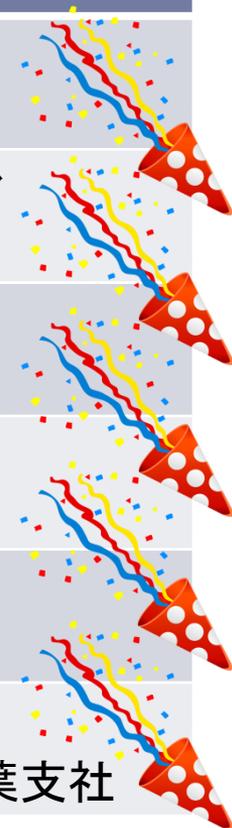
四街道市
政策推進課

本市のさらなる発展のため、ご支援を賜り誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

- ▶ 四街道市では、「四街道市総合計画後期基本計画」及び「第2期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、地方創生に関する様々な取組を推進しています。
- ▶ 四街道市は、地方創生の取組の一つとして、地方応援税制（企業版ふるさと納税）の認定を国から受けました。
- ▶ 国に認定された地方創生プロジェクト（「四街道市まち・ひと・しごと創生推進計画」）に対する企業のみなさまからのご寄附は、税制上の優遇措置を受けられることとなります。

令和3年度寄附実績一覧

対象事業	
“選ばれる”まちづくりをめざしたシティセールス推進事業	(寄附企業の意向により非公表)
地域公共交通の課題解決に向けたデマンド型交通導入事業	株式会社ユニバースフロンティア
大土手山手摺設置に関する事業	(寄附企業の意向により非公表)
市制施行40周年記念写真集作成事業	(寄附企業の意向により非公表)
シティセールスロゴマーク制作事業	(寄附企業の意向により非公表)
(仮)四街道市千代田地域包括支援センター設置事業	(寄附企業の意向により非公表) 明治安田生命保険相互会社千葉支社



ありがとうございます！！

“選ばれる”まちづくりをめざした シティセールス推進事業

- ▶ 経費：439,891円（うち 寄附額 43万円）
- ▶ “選ばれる”まちづくりをめざしたシティセールス推進事業として、以下3つの事業を実施しました。
- ▶ ①PR横断幕の掲出
- ▶ ②市の周知啓発用パンフレット配架
- ▶ ③市にゆかりのある方をPR大使として任命

PR横断幕の掲出

- ▶ 経費：207,395円
- ▶ 令和3年6月から東関東自動車道（千葉北IC～四街道IC間）に架かる陸橋にPR横断幕を2枚掲出しました。
- ▶ 横断幕のキャッチコピーは四街道の場所を、千葉県のマスコットキャラクター「チーバくん」のほっぺに例えたものと、子育て環境の充実に力を入れていることをPRする内容で、運転の支障にならないようシンプルで、目を引くデザインとなっています。
- ▶ 横断幕は各種メディアにおいても取り上げられ、市の認知度向上に寄与しています。



市の周知啓発用パンフレット配架

- ▶ 経費：99,000円
- ▶ 市の周知啓発用パンフレットにつきましては、7月下旬から8月下旬まで京葉道路の幕張パーキングエリア（上下線）のパンフレットラックに、四街道市の魅力を満載した情報誌「るるぶ特別編集 四街道市」を配架しています。
- ▶ 店舗が多数出店されているパーキングエリアにパンフレットを配架することにより、より効果的な魅力発信ができることが期待されます。

市にゆかりのある方をPR大使として任命

- ▶ 経費：133,496円
- ▶ 本市にゆかりがあり文化・スポーツ・芸能・芸術などの分野で活躍されている6名の方を、「四街道市PR大使」として委嘱しました。
- ▶ 大使として、6名の皆さまが活動されているさまざまな場面で、ふるさと四街道の魅力を発信していただき、四街道のイメージアップを図ります。
- ▶ 令和4年3月には、新しく制作したシティセールス用のロゴマークをデザインした四街道市PR大使用の名刺を作成しました。裏面には四街道の魅力ある場所やイベントをデザインし、市をPRしています。
- ▶ また、今後は市が主催するイベントなどで、PR大使にご参加いただくなど、活動を盛り上げていきたいと考えています。

市にゆかりのある方をPR大使として任命

▶ 四街道市PR大使の方々(五十音順)

- ▶ 飯塚 悟志(いづか さとし)さん
- ▶ お笑い芸人 1973年5月27日生まれ

- ▶ 石橋 康太(いしばし こうた)さん
- ▶ プロ野球選手 2000年12月7日生まれ

- ▶ 木村 一基(きむら かずき)さん
- ▶ 将棋棋士(九段) 1973年6月23日生まれ

- ▶ 佐藤 博紀(さとう ひろき)さん
- ▶ 元プロバスケットボール選手 1982年1月30日生まれ

- ▶ 長谷川 朝晴(はせがわ ともはる)さん
- ▶ 俳優 1972年3月19日生まれ

- ▶ 山中 琉聖(やまなか りゅうせい)さん
- ▶ オートバイレーサー 2001年11月6日生まれ

市にゆかりのある方をPR大使として任命



飯塚 悟志(いづか さとし)さん
お笑い芸人
1973年5月27日生まれ

(プロフィール)

南小学校・千代田中学校卒業。2003年にお笑いトリオ東京03を結成。2009年キングオブコント優勝。

毎年開催される東京03単独公演は、チケットが即完売するほどの人気を誇る。昨年は第23回東京03単独公演「ヤな因果」を各地で開催。

現在はレギュラー番組出演のほか、コントでの演技力が評価され、テレビドラマにも多く出演している。

(市民に向けたメッセージ)

20歳の直前までずっと四街道市で生まれ育って、今48歳でこのような大役を頂き、何が出来るかわかりませんが、とにかく声をかけてもらえた事が素直に嬉しかったので務めさせて頂く事にしました。思い出の場所は小学生時代に散々通った中央公園の市民プールと、移転する前のイトーヨーカドーです。よろしくお願いします。

市にゆかりのある方をPR大使として任命

©中日ドラ



石橋 康太(いしばし こうた)さん
プロ野球選手
2000年12月7日生まれ

(プロフィール)

四街道小学校時代に、四街道ブルースターズに入団し捕手として活躍。

四街道西中学校入学後は千葉市リトルシニアに入団。関東第一高等学校に進学し、高校通算57本塁打を放ち、強肩強打の捕手として、2018年のNPBドラフト会議において中日ドラゴンズより4巡目で指名を受け入団。

ルーキーイヤーから一軍デビューし、将来の正捕手候補として期待されている。

(市民に向けたメッセージ)

生まれ育った四街道市のPR大使に就任させていただき大変光栄に思います。
ふるさとである四街道市の良さをPRできるよう、日々精進していきたいと思っております。

市にゆかりのある方をPR大使として任命



木村 一基(きむら かずき)さん
将棋棋士(九段)
1973年6月23日生まれ

(プロフィール)

八木原小学校・千代田中学校卒業。12歳の時に(故)佐瀬勇次名誉九段に入門する。

1985年、第10回小学生将棋名人戦でベスト8入りし、プロ棋士養成機関である奨励会に入会。1997年、プロ入り(四段昇段)し、新人賞を受賞するなど長きにわたり将棋界で活躍。2019年、第60期王位戦七番勝負において勝利しタイトルを獲得。46歳3か月での初タイトル獲得は、それまでの記録を8歳以上更新する初タイトル獲得の最年長記録。

(市民に向けたメッセージ)

この度、四街道市PR大使を拝命することになりました。長く過ごした四街道に恩返しができるよう、また四街道市を多くの方に知っていただけるよう、頑張りたいと存じます。よろしくお願いいたします。

市にゆかりのある方をPR大使として任命



佐藤 博紀(さとう ひろき)さん
元プロバスケットボール選手
1982年1月30日生まれ

(プロフィール)

山梨小学校時代にバスケットボールを始め、ミニバスケットクラブで県大会出場。旭中学校のバスケットボール部に所属し、県大会出場、千葉県選抜選出、Jrオールスターベスト8。大学卒業後の2004年からバスケットボール日本リーグに所属し活躍。2011年、日本プロバスケットボールリーグ千葉ジェッツに入団。初代キャプテンに就任し、4シーズンキャプテンを務める。2015年、現役を引退し千葉ジェッツふなばしアンバサダー就任。その後も千葉ジェッツふなばしの要職を務め、2020年から取締役事業本部長に就任。バスケットボールの普及や地域貢献に取り組んでいる。

(市民に向けたメッセージ)

この度、四街道市PR大使に就任することになり、大変光栄に思っております。

四街道市で育ち、バスケットボールに励んできた四街道市にはたくさんの思い出がございます。四街道市の魅力を発信できるよう、恩返しが出来ればと思います。

市にゆかりのある方をPR大使として任命



長谷川 朝晴(はせがわ ともはる)さん
俳優

1972年3月19日生まれ

(プロフィール)

八木原小学校・千代田中学校卒業。1993年、明治大学在学中にジョビジョバを結成。2002年12月に活動を休止するまで、テレビ・ラジオ・イベントなどに出演。その一方で、個人でのドラマ出演や趣味の音楽の知識を生かし、音楽誌にエッセイを連載するなど、活動は多岐にわたる。

映画「ヘブンズストーリー」で第25回高崎映画祭最優秀主演男優賞受賞。近年の主な舞台は「リチャード三世」(2017/演出:シルヴィウ・プルカレーテ)、直人と倉持の会 vol.2「磁場」(2016/演出:倉持裕)など。

(市民に向けたメッセージ)

この度、四街道PR大使を務めることになり大変光栄な思いでいっぱいです。地元四街道のために、決して自分に出来ることは多くはないと思いますが、楽しみながら活動させていただきます。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

市にゆかりのある方をPR大使として任命



山中 琉聖(やまなか りゅうせい)さん
オートバイレーサー
2001年11月6日生まれ

(プロフィール)
3歳の時にポケットバイクを始める。5歳の時に全日本ポケバイ選手権で優勝。
千代田中学校時代から活動の場を世界に移し戦う。2017年にプロ免許に当たる国際ライセンスを取得し、ヨーロッパで開催されている若手選手が競うレッドブルルーキーズカップで優勝。2019年はジュニア世界選手権、スペイン大会で優勝。2020年から世界最高峰のバイクレースであるロードレース世界選手権(MotoGP)のMoto3クラスに参戦。2021年も継続参戦しベスト7位と活躍。

(市民に向けたメッセージ)

この度はPR大使に任命して頂きとても光栄です。

私は世界選手権MotoGPというレースのMoto3クラスに参戦しています。MotoGPとは2輪のF1と呼ばれ世界最高峰のバイクレースで、ヨーロッパではとても人気があるスポーツです。バイクレースが日本で更に人気になるよう、また四街道市の街全体を元気にできるよう貢献したいと思っております。

地域公共交通の課題解決に向けた デマンド型交通導入事業

- ▶ 経費：550万円（うち 寄附額 550万円）
- ▶ 市内公共交通の維持・利用促進と公共交通不便地域等の解消を図ることを目的に、デマンド型交通の導入に向けた実証実験を令和3年10月19日から実施しております。
- ▶ バス停までの移動支援を図り、公共交通を補完することで既存バス路線への利用を促進し、公共交通の維持を図ることに加え、近くの商業施設等への移動支援を行い、買物・外食等の外出意欲の向上と外出機会を増やすことで地域の活性化につなげるための事業です。

地域公共交通の課題解決に向けた デマンド型交通導入事業

- ▶ 令和4年3月31日時点における会員数は432人で、開始から3月末までに、延べ291人が利用しております。
- ▶ 予約件数は 244件で、1日平均の予約件数は3.8件です。また、1日平均の延べ利用者数は4.5人となっており、実証実験の開始時期としては、順調な滑り出しと考えています。
- ▶ 利用者に回答していただくアンケートでは、肯定した声が多く、買い物に助かっている、これからも続けて欲しいなどの声をいただいております。
- ▶ 主な声として、「歩けないので、三徳(スーパー)まで行けるようになり、大助かり。ありがとう。」「視野が広く、子供と出かけるのにぴったり！子供もとても喜んでいる。」「活用の手段がまだ良くわからない。冬期に入ると寒そうで活用しにくそう。」等ございました。
- ▶ より良い運行を目指して、会員へのアンケート等を行い、運行方法等の変更を検討する必要があると考えております。

地域公共交通の課題解決に向けた デマンド型交通導入事業



出発式の様子



利用者の様子

大土手山手摺設置に関する事業

- ▶ 経費：176万円（うち 寄附額 176万円）
- ▶ 大土手山を安全にご利用いただくため、階段両側に手摺を設置しました。
- ▶ 大土手山の山頂からは開放感のある風景が広がり、市民の憩いの場となっています。
- ▶ 大土手山は、1873年（明治6年）、明治政府が、陸軍指導者として招きいれたフランス陸軍ジョルジュ・ルボン砲兵大尉の指導により設立された陸軍砲兵射的学校（後の陸軍野戦砲兵学校）の的として使われた歴史のある山（別名ルボン山）です。当時は現在の大日の富士見ヶ丘方面からこの山をめがけて訓練が行われました。

大土手山手摺設置に関する事業



大土手山の階段(手摺設置前)



大土手山の階段(手摺設置後)



大土手山の階段(手摺設置前)
階段上から撮影



山頂から見た景色



大土手山の山頂

市制施行40周年記念写真集作成事業

- ▶ 経費：103万円（うち 寄附額 28万円）
- ▶ 地域の人々が守り伝えてきた地域史料を次世代に引き継いでいくため、市制施行40周年を記念する写真集（A4判、250頁）を500部発行しました。
- ▶ 今号は戦前、戦後の写真を中心に多面的に市の発展を紹介しました。

市制施行40周年記念写真集作成事業

▶ あとがきより抜粋

『写真に見る四街道の歴史』をお届けします。

—略—

これまで本市の様子をとりあげた写真集はいくつか出されています。そこには、懐かしい思い出深い写真が多数載せられています。四街道を知るには、欠くことのできない一枚一枚ではありますが、本書発刊にあたってはそれらと重複することをできるだけ避け、初出のものを中心に掲載することとしました。

市民の皆様に提供をお願いし、事務局で関係者、諸団体に呼びかけ、現時点で収集できたものの集大成が本書です。

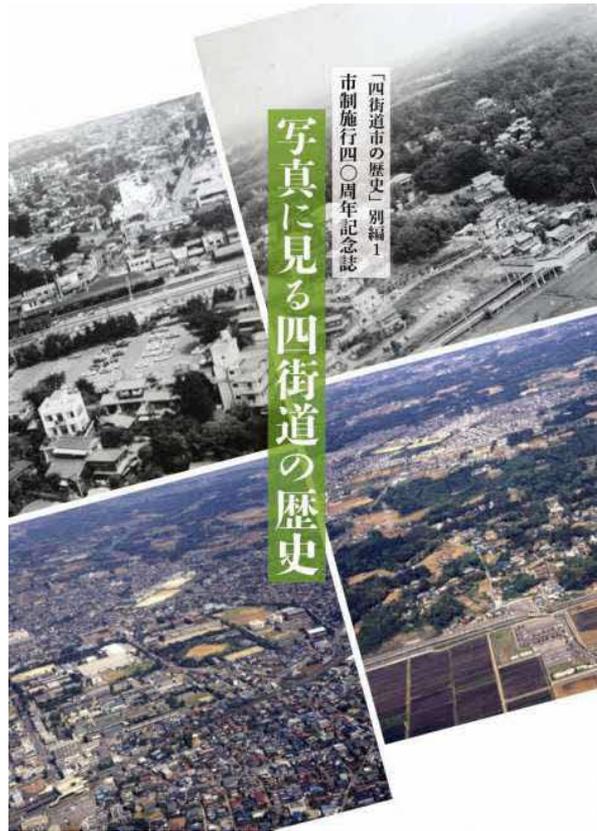
—略—

最後になりますが、貴重な写真・資料等をご提供いただき、快く掲載許可くださった皆様、様々な形でご支援いただいた協力者の皆様に、心からの謝意を表します。

令和四年三月

四街道市史編さん委員会委員長 須藤 元夫

市制施行40周年記念写真集作成事業



市制施行40周年記念写真集表紙



掲載写真

シティセールスロゴマーク制作事業

- ▶ 経費：2,034,900円（うち 寄附額 203万円）
- ▶ 四街道市の魅力や特徴などをあらわしたキャッチコピーとマークを組み合わせてデザインされたもので、市外に四街道の魅力を分かりやすく視覚的に印象付けるロゴマークを制作しました。
- ▶ ロゴマークは市外だけではなく、市民や市内事業者にも市をPRするため広く活用します。



シティセールスロゴマーク制作事業

- ▶ 四街道市は、千葉県内では一定水準の認知度はあるものの、東京圏における認知度は十分とは言えません。そのため、様々なシティセールスの取り組みにより、認知度の向上を図り、居住地としての魅力を積極的にPRしています。
- ▶ ロゴマークはこれらのシティセールスの取り組みの統一的な印となり、よりシティセールスを推進するものです。

(仮) 四街道市千代田地域 包括支援センター設置事業

- ▶ 経費：3,074万円（うち 寄附額 133.6万円）
- ▶ 高齢化率の高い千代田中学校区（高齢者人口5,118人、高齢化率31.2%）に新たな地域包括支援センターを開設することとし、以下の物件を取得しました。今後、開設に向けて準備を進めてまいります。

【取得物件の概要】

- ▶ 四街道市池花2-22-4（旧千葉県住宅供給公社 現地販売センター）
- ▶ 土地面積：495.34m²
- ▶ 建物床面積：108.48m²（木造築30年）

(仮) 四街道市千代田地域 包括支援センター設置事業

- ▶ 地域包括支援センターとは…
高齢者が地域で生活できるよう支援するための拠点。
高齢者のさまざまな困りごとに対応する総合相談窓口です。
- ▶ 本市では現在、市域を北地区と南地区に分け、2か所の地域包括支援センターを設置しています。北地区は3中学校区で計16,865人(R3.4.1現在。以下同じ)の高齢者を担当、南地区は2中学校区で計10,393人の高齢者を担当していますが、2025年には、全ての団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、介護リスクが一層高まることから、更なる相談体制の強化が必要となっています。



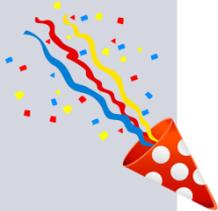
企業版ふるさと納税 令和4年度事業実施報告書

四街道市
政策推進課

本市のさらなる発展のため、ご支援を賜り誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

- ▶ 四街道市では、「四街道市総合計画後期基本計画」及び「第2期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、地方創生に関する様々な取組を推進しています。
- ▶ 四街道市は、地方創生の取組の一つとして、地方応援税制（企業版ふるさと納税）の認定を国から受けました。
- ▶ 国に認定された地方創生プロジェクト（「四街道市まち・ひと・しごと創生推進計画」）に対する企業のみなさまからのご寄附は、税制上の優遇措置を受けられることとなります。

令和4年度寄附実績一覧

対象事業	
地域公共交通の課題解決に向けた交通システム構築事業	(寄附企業の意向により非公表) 
“選ばれる”まちづくりをめざしたシティセールス推進事業	(寄附企業の意向により非公表) 



3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を



17 パートナーシップで目標を達成しよう



ありがとうございます！！

地域公共交通の課題解決に向けた 交通システム構築事業

- ▶ 経費：5,846,292円（うち 寄附額 1,500,000円）
- ▶ 市内公共交通の維持・利用促進と公共交通不便地域等の解消を図ることを目的に、デマンド型交通の導入に向けた実証実験を令和3年10月19日から実施しております。
- ▶ バス停までの移動支援を図り、公共交通を補完することで既存バス路線への利用を促進し、公共交通の維持を図ることに加え、近くの商業施設等への移動支援を行い、買物・外食等の外出意欲の向上と外出機会を増やすことで地域の活性化につなげるための事業です。



地域公共交通の課題解決に向けた 交通システム構築事業

- ▶ いただいたご寄附は、千代田地区にて行われる実証実験に活用させていただきます。
- ▶ 千代田団地は、老年人口が57%を超えるなど、市内平均28.6%と比較しても突出して高齢者が多い地域です。
- ▶ また、この地区を運行するバス路線は、平成10年度と比較して100本以上も減便しており、今後、市内の地域公共交通を維持する観点からも、減便に歯止めをかける必要がある地区です。
- ▶ 同地区において、国の支援を受け実施した、グリーンスローモビリティ（略称グリスロ）を活用した実証実験では、子供から高齢者まで多くの世代の方の利用があり、手を振って喜ぶ姿が多く見受けられました。
- ▶ 今年度は、地域にとってより良い運行となるよう、自治会等と意見交換会を行い、デマンド型乗合運行から定時定路線による運行に変更したことで、より多くの方に利用していただくことができました。
- ▶ 事業に賛同し、ご支援いただきました事業者様に、改めて感謝申し上げます。

地域公共交通の課題解決に向けた 交通システム構築事業



出発式の様子



利用者の様子

“選ばれる”まちづくりをめざした シティセールス推進事業

- ▶ 経費：1,222,914円（うち 寄附額 50万円）
- ▶ “選ばれる”まちづくりをめざしたシティセールス推進事業として、以下4つの事業を実施しました。
- ▶ ①PR横断幕の掲出
- ▶ ②市の周知啓発用パンフレット配架
- ▶ ③四街道市PR大使の等身大パネルを設置
- ▶ ④シティセールスロゴマークを活用したPRグッズの制作



PR横断幕の掲出

- ▶ 経費：215,600円
- ▶ 令和4年8月から東関東自動車道（千葉北IC～四街道IC間）を利用する人に向けて設置している、四街道市のPR用横断幕を、新たなキャッチコピーに更新しました。
- ▶ 今年度のキャッチコピーは四街道の住みやすさを表現したものと、自然が豊かな街であることをPRするもので、四街道市のシティセールスロゴマークを組み合わせたデザインとなっています。
- ▶ 横断幕は各種メディアにおいても取り上げられ、市の認知度向上に寄与しています。



市の周知啓発用パンフレット配架

- ▶ 経費：99,000円
- ▶ 市の周知啓発用パンフレットにつきましては、7月下旬から8月下旬まで京葉道路の幕張パーキングエリア（上下線）のパンフレットラックに、四街道市の魅力を満載した情報誌「るるぶ特別編集四街道市」を配架させていただいております。
- ▶ 店舗が多数出店されているパーキングエリアにパンフレットを配架できることにより、より効果的な魅力発信ができることが期待されます。

四街道市PR大使の等身大パネルを設置

- ▶ 経費：191,730円
- ▶ お笑い芸人の飯塚悟志さん、プロ野球選手の石橋康太さん、将棋棋士の木村一基さん、元プロバスケットボール選手の佐藤博紀さん、俳優の長谷川朝晴さん、オートバイレーサーの山中琉聖さんの6名を四街道市PR大使として委嘱し、活動をいただいています。
- ▶ 令和5年3月1日(水曜)には、四街道市PR大使を身近に感じていただきながら、シティセールスを推進するため、市役所正面玄関に等身大パネルを展示しました。記念撮影を行い、Instagramに投稿すると「シティセールスロゴマーククリアファイル」がもらえるキャンペーンも実施しています。

シティセールスロゴマークを活用した PRグッズの制作

- ▶ 経費：716,584円
- ▶ 令和3年度に制作した新しいシティセールスロゴマークを活用し、クリアファイルやエコバッグなどのPRグッズを制作しました。
- ▶ PRグッズは、幕張新駅開業イベントなどの各種イベント等にて配布を行ったほか、四街道市PR大使の等身大パネルを活用したキャンペーンに参加いただいた方へも配布を行いました。





企業版ふるさと納税 令和5年度事業実施報告書

四街道市
政策推進課

本市のさらなる発展のため、ご支援を賜り誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

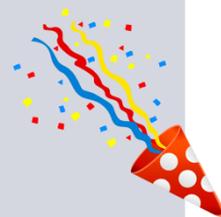
- ▶ 四街道市では、「四街道市総合計画後期基本計画」及び「第2期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、地方創生に関する様々な取組を推進しています。
- ▶ 四街道市は、地方創生の取組の一つとして、地方応援税制（企業版ふるさと納税）の認定を国から受けました。
- ▶ 国に認定された地方創生プロジェクト（「四街道市まち・ひと・しごと創生推進計画」）に対する企業のみなさまからのご寄附は、税制上の優遇措置を受けられることとなります。

令和5年度寄附実績一覧

対象事業

“選ばれる”まちづくりをめざしたシティ
セールス推進事業

(寄附企業の意向により非公表)
阪神金属興業株式会社



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナシップで
目標を達成しよう



ありがとうございます！！

“選ばれる”まちづくりをめざした シティセールス推進事業

- ▶ 経費：5,594,820円（うち 寄附額 45万円）
- ▶ “選ばれる”まちづくりをめざしたシティセールス推進事業として、以下4つの事業を実施しました。
 - ▶ ①四街道市PR大使のイベント出演
 - ▶ ②ロゴマークを活用したPRグッズの制作
 - ▶ ③PR横断幕の掲出
 - ▶ ④PRパンフレットの制作及び配架



四街道市PR大使のイベント出演

- ▶ 経費：100,000円
- ▶ 元プロバスケットボール選手の佐藤博紀さんが、四街道市の一日消防長として、火災予防啓発活動に参加しました。
- ▶ 将棋棋士(九段)の木村一基さんが「第2回四街道 WALLABY RUN(ワラビーラン)」にゲストランナーとして出走しました。
- ▶ 著名な方による啓発活動やイベントの出演を通じて市PR大使を身近に感じていただき、シティプロモーションの推進を行っています。

ロゴマークを活用したPRグッズの制作

- ▶ 経費：464,520円
- ▶ シティセールスロゴマークのピンバッジやうちわ、クリアファイルなどのPRグッズを制作しました。



- ▶ PRグッズは「成田伝統芸能まつり」など本市をPRするイベントや、ふるさとまつりで配布を行いました。



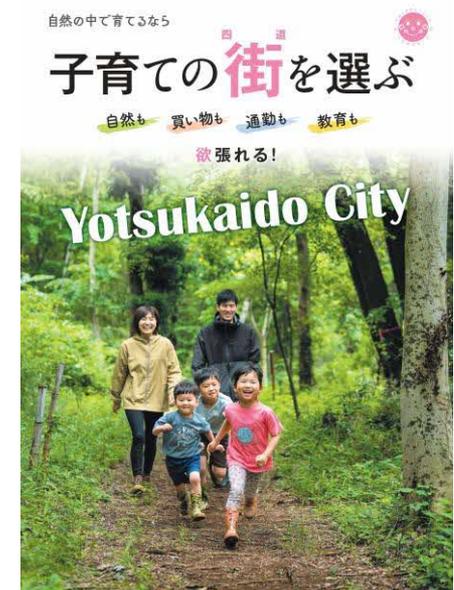
PR横断幕の掲出

- ▶ 経費：261,800円
- ▶ 令和5年8月から東関東自動車道（千葉北IC～四街道IC間）を利用する人に向けて設置している、四街道市のPR横断幕を、新たなキャッチコピーに更新しました。
- ▶ 今年度は、市内在住・在学・在勤の方からキャッチコピーを公募し、275件の応募作品の中から、ロゴマークの「笑顔」と幸せがあふれる街を掛け合わせたものと、住環境の快適さをPRする作品が選ばれました。



PRパンフレットの制作及び配架

- ▶ 経費：4,768,500円
- ▶ 令和5年7月に、市の多様な魅力をわかりやすく伝えるPRパンフレット「子育ての街（四街道）を選ぶ」を30,000部作成しました。
- ▶ PRパンフレットを8月上旬から9月下旬まで京葉道路の幕張パーキングエリア（上下線）に配架することにより、多くの人の目に触れ、効果的に本市の魅力を発信することができました。



第3期四街道市

まち・ひと・しごと創生総合戦略

(骨子案)



目 次

1章 基本的な考え方	1
1. 策定の趣旨	1
2. 位置付け	2
3. 対象期間	3
4. まち・ひと・しごと創生に関する動向	4
(1) 国のまち・ひと・しごと創生総合戦略	4
(2) 県のまち・ひと・しごと創生総合戦略	5
(3) 第2期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証	6
2章 四街道市人口ビジョン	7
1. 人口等の現状分析	7
(1) 総人口	7
(2) 人口動態	8
(3) 通勤者(就業者)の流出入人口	10
(4) 合計特殊出生率・婚姻等の推移	12
2. 人口の将来展望	15
3章 四街道市地方創生総合戦略	16
1. 目指すべき将来の方向(四街道市地域ビジョン)	16
2. 総合戦略の構成	17
(1) 基本目標	17
(2) 施策の基本的方向	17
(3) 具体的な施策	17
(4) 総合戦略の体系	18
3. 4つのまちづくりの道	19

1章 基本的な考え方

1. 策定の趣旨

急速な少子高齢化に対応し、それぞれの地域で住み良い環境を確保し、将来にわたって活力ある社会を維持していくことを目的に、平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されて以降、同法に基づき、国・地方が一体となって、将来的な人口減少社会の克服や持続可能な地域づくりの実現といった地方創生の取組を推進してきました。

本市でも、令和42年(2060年)までの将来展望を示した「四街道市人口ビジョン」及び平成27年度から令和元年度までを対象期間とする「四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、並びに令和2年度から6年度までを対象期間とする「第2期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下「第2期総合戦略」という。)を策定し、将来的な人口減少社会の克服や持続可能な地域づくりの実現といった地方創生の取組を計画的に推進してきたところです。

そのような中、国は、令和4年12月に「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、デジタル技術の活用によって、地域の個性を活かしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化することとし、まち・ひと・しごと創生総合戦略として、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。

また、県は、令和6年3月に、これまでの地方創生における取組の成果などを踏まえ、デジタルの力などを活用して地方創生を実現・深化していくため、「第3期千葉県地方創生総合戦略」を策定しました。

本市においては、人口減少局面を迎えつつある中、さらなる高齢化の進行も見込まれており、こうした状況にあっても、笑顔と笑顔をつなぐ街に向け、さまざまな人がそれぞれ想う幸せな未来につないでいくまちづくりが重要となっています。

そのため、四街道市のまちづくりの方向性を示す総合計画における「幸せつなぐ 未来への道しるべ -Yotsukaido Happy Road-」で示す4つのまちづくりの道の実現に向け、四街道市総合計画第1期基本計画 HAPPY SMILE PLAN -笑顔と笑顔をつなぐ街 四街道-(以下「HAPPY SMILE PLAN」という。)で定めた「デジタル化」をはじめとするまちづくりの推進力(エンジン)を活用し、地方創生のさらなる加速化・深化に取り組むため、「第3期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下「第3期総合戦略」という。)を策定することとしました。

第3期総合戦略では、「人口ビジョン」において、本市を取り巻く様々な現状を整理し、人口の将来展望を提示するとともに、「地方創生総合戦略」において、まちづくりの方向性を踏まえた具体的な取組内容等について整理し、人の幸せに着目した持続可能なまちづくりを目指してまいります。



2. 位置付け

第3期総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法第10条の規定に基づく市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略として、これまで進めてきた地方創生の流れを継承しつつ、国・県のまち・ひと・しごと創生総合戦略を勘案の上、策定します。

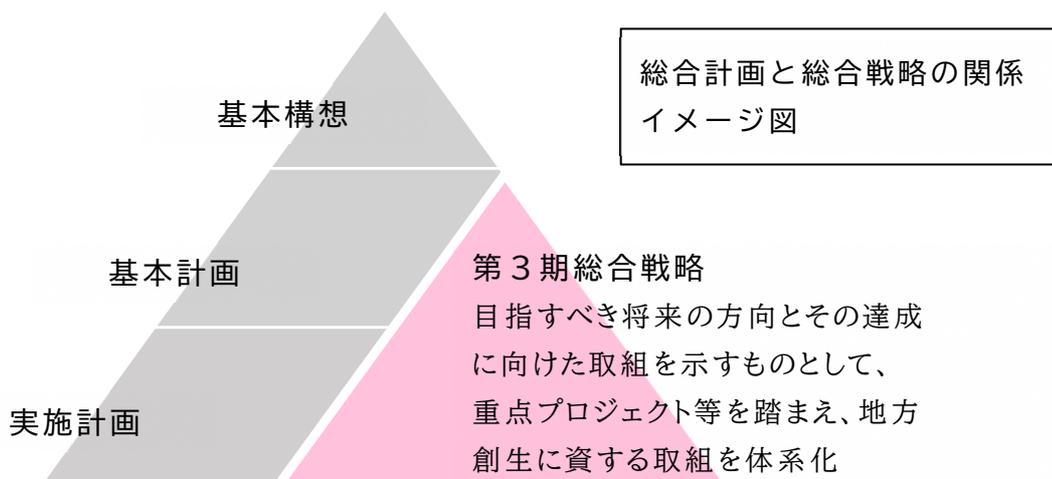
また、HAPPY SMILE PLANにおいて、地方創生やSDGsの視点を踏まえ設定した重点プロジェクトと一体的な推進を図るものとします。

< 総合計画と総合戦略の関連 >

HAPPY SMILE PLANは、さまざまな年代や立場からみた、それぞれが想う幸せな未来につなぐため、将来的に見込まれる人口減少や人口構成の不均衡への対応をはじめ、社会的環境が変化する中であっても、いつまでも住み続けたい、みんなが住んでみたい四街道へ向かっていくための計画です。

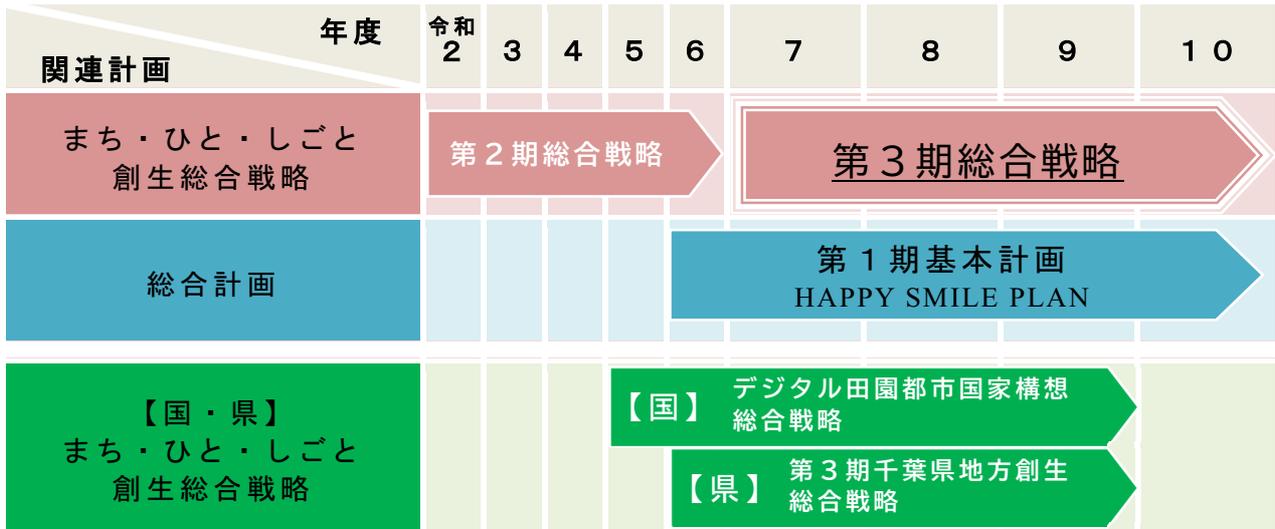
これは、地方創生の基本的な考え方である「それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していく」と一致するものです。

特に、HAPPY SMILE PLANにおける重点プロジェクトは、子育て世代を中心とした若い世代の転入・定住促進をはじめとした地方創生の取組を積極的に推進するために設定したものであることから、第3期総合戦略は、HAPPY SMILE PLANに位置付けた重点プロジェクト等の地方創生に資する取組を基本とし、本市の実情に応じた機動的かつ実践的な戦略として策定します。



3. 対象期間

第3期総合戦略の対象期間は、地方創生の取組を切れ目なく推進するとともに、HAPPY SMILE PLANと一体的な推進を図るため、HAPPY SMILE PLANの目標年度に合わせ、対象期間を令和7年度から令和10年度までの4年間とします。



写真等追加予定

4. まち・ひと・しごと創生に関する動向

(1) 国のまち・ひと・しごと創生総合戦略

デジタル田園都市国家構想総合戦略

【2023年度～2027年度】

国は、これまでの地方創生の取組の成果も踏まえつつ、人口減少・少子高齢化、産業の空洞化など、地方が抱える課題をデジタルの力を活用することによって解決し、地域の個性を活かしながら、地方を活性化し、地方から国全体へのボトムアップの成長を実現するとともに、持続可能な経済社会を目指し、これまでのまち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂した新たな総合戦略を策定しました。

【基本的考え方】

1. 「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。
2. デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、各地域の優良事例の横展開を加速化する。
3. これまでの地方創生の取組についても、改善を加えながら推進する。

【施策の方向】

地方の社会課題解決

1. 地方に仕事をつくる
中小・中堅企業DX、
地域の良質な雇用の創出等、
スマート農業、観光DX 等
2. 人の流れをつくる
移住の推進、関係人口の創出・拡大、
地方大学・高校の魅力向上 等
3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
結婚・出産・子育ての支援、
少子化対策の推進 等
4. 魅力的な地域をつくる
地域生活圏、教育 DX、医療・介護 DX、
地域交通・物流・インフラ DX、防災 DX 等

国によるデジタル実装の基礎条件整備

1. デジタル基盤の整備
デジタルインフラの整備、
デジタルライフライン全国総合整備計画、
マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大 等
2. デジタル人材の育成・確保
デジタル人材育成プラットフォームの構築、
職業訓練のデジタル分野の重点化、
高等教育機関等におけるデジタル人材の
育成 等
3. 誰一人取り残されないための取組
デジタル推進委員の展開、
デジタル共生社会の実現

(2) 県のまち・ひと・しごと創生総合戦略

第3期千葉県地方創生総合戦略

【2024年度～2027年度】

～デジタル田園都市国家構想の実現に向けて～

県は、これまでの地方創生における取組の成果を踏まえるとともに、デジタルの力などを活用しながら、「人が働き、活躍し、育み・育ち、暮らす」ことで地方創生をさらに発展させていくことで、「千葉らしいライフスタイル」を創造していくため、新たな総合戦略を策定しました。

【基本的な方向性】

様々な分野での人手不足の解消や「千葉らしいライフスタイル」を創造するためには、県の持つ魅力や可能性を伸ばす基盤となる「人」が重要であることから、「人」に着目し、「人」が県に集まり、「人」の求める様々な価値に対応し、「人」が生活していけるよう、

『「人」が働き、活躍し、育み・育ち、暮らす』を地方創生における基本的な方向とする。

【基本目標】

基本目標1 働く

地域経済を活性化する環境づくり

県民の働く場を確保するとともに、地域経済を活性化させていく。

基本目標2 活躍する

多様な人材が活躍できる社会づくり

多様な人材が活躍することで、社会の活力及び創造性の向上につなげる。

基本目標3 育み・育つ

子育てしやすい社会づくり

結婚・子育ての希望を実現し、未来を担う子どもや若者を育てる。

基本目標4 暮らす

県民が暮らしやすい地域づくり

県民が安全に安心して暮らせるよう、様々な地域づくりに取り組む。

【地方創生におけるデジタルの活用】

1. デジタルで「働く」を次のステージへ

中小企業のDXの推進、スマート農林水産業の加速化、デジタルを活用した観光振興

2. デジタルは「活躍する」を広げる

テレワーク・ワーケーション等の推進

3. デジタルが「育み・育つ」を変える

デジタル技術を活用した教育の質の向上

4. デジタルで「暮らす」を安全で楽しく

デジタルを活用した安全な地域づくりの推進、医療・福祉・介護分野でのデジタル化の推進、インフラDX、まちづくり分野でのDX推進など

(3)第2期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証

効果検証掲載予定

2章 四街道市人口ビジョン

1. 人口等の現状分析

(1) 総人口

I 総人口の推移

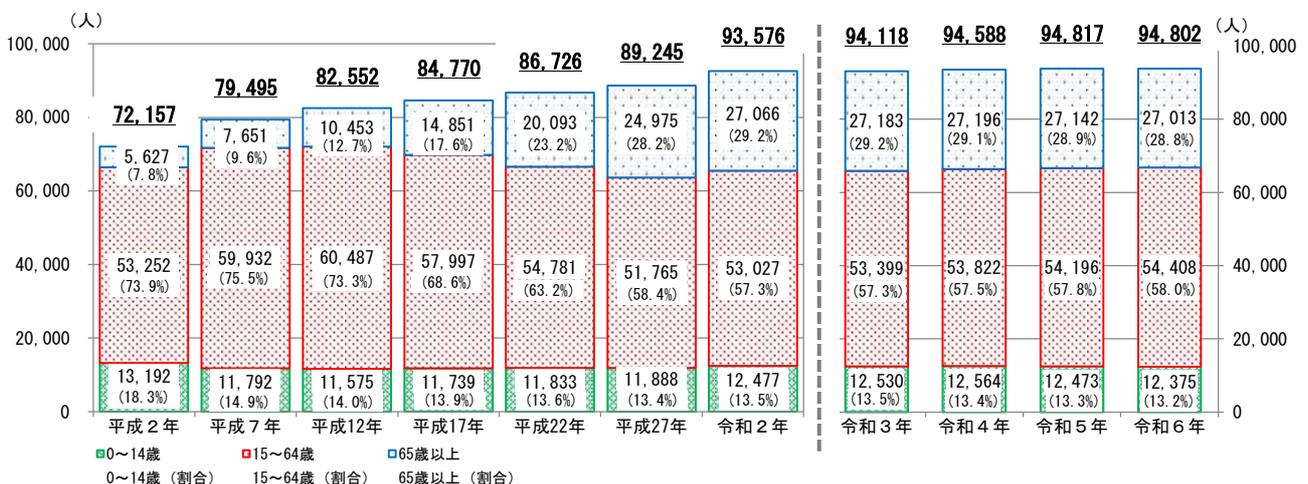
国勢調査により本市の人口推移をみると、増加傾向を維持しており、令和2年に人口93,576人となり、昭和40年の19,778人から4.7倍(73,798人増)に増加しています。

期間別の増減率では、昭和40年～45年に33.4%(6,597人増)、昭和45年～昭和50年に41.8%(11,026人増)、昭和50年～55年に58.4%(21,835人増)と極めて高い水準で推移しています。この期間の人口が急増した背景として、昭和43年の旭ヶ丘、昭和50年の千代田、昭和51年のみそらなどの大規模住宅団地の入居が相次いで開始されたことが大きな理由としてあげられます。

年齢3階層別の人口構成比をみると、生産年齢人口(15～64歳)は平成7年をピークに減少に転じており、令和2年には57.3%となっています。また、年少人口(0～14歳)においても昭和55年をピークに減少に転じ、令和2年には13.5%まで減少しています。一方、老年人口(65歳以上)は昭和55年以降一貫して増加を続けており、平成17年には、年少人口を上回る17.6%、令和2年には29.2%になっています。なお、本市の令和2年における年齢3階層別の人口構成比では、年少人口と老年人口は、全国や千葉県よりも高く、生産年齢人口は、全国や千葉県よりも低い状況となっています。

令和2年国勢調査以降の人口を常住人口でみると、令和6年10月1日時点で、94,802人となり、令和2年から1,226人増加しているものの、令和5年10月1日時点の94,817人を若干下回っており、本市においても人口減少局面を迎えつつあります。

図 人口推移(出典:国勢調査[左図]/人口推計・住民基本台帳(常住人口)[右図] 各年10月1日)



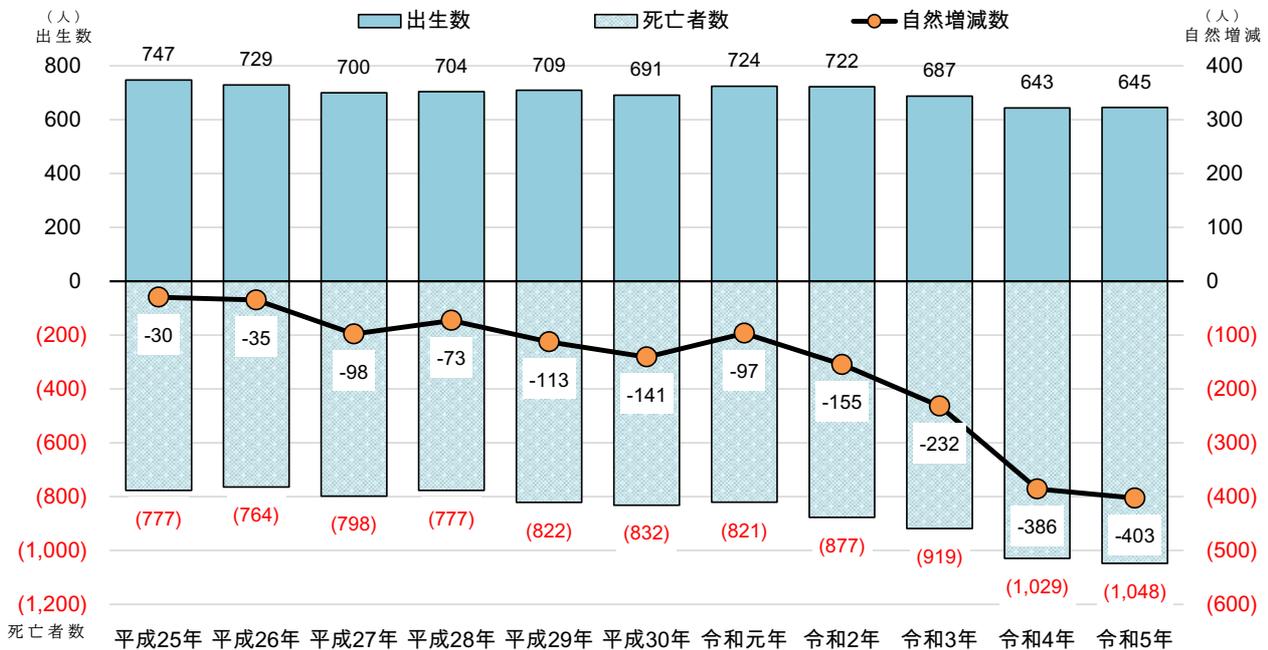
(2)人口動態

I 自然動態(出生・死亡)

自然動態をみると、出生数は、近年 700 人前後で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症が流行した令和2年以降は減少し、令和5年は645人となっています。一方、死亡数は、長期的に増加傾向となっておりますが、コロナ禍にあった令和2年から令和4年までは特に増加幅が大きく、直近の令和5年は1,048人となっています。

自然増減数は、死亡者数が出生数を上回る自然減が続いており、その差は特にコロナ禍において拡大傾向が加速しており、令和5年は-403人となっています。

図 出生・死亡者数(出典:千葉県毎月常住人口調査)



II 社会動態(転入・転出)

社会動態をみると、転入者数は、新型コロナウイルス感染症が流行した令和2年以降も 4,000 人台を維持しており、令和5年は 4,225 人となっています。また、転出者数は、令和2年以降 3,000 人台半ばで推移しており、令和5年は、3,569 人となっています。

社会増減数は、転入者数が転出者数を上回る社会増を維持しており、令和5年は656人となっています。

転入者の従前の住所地をみると、千葉県内に集中しており、市町村別の内訳では隣接する千葉市が 939 人と最も多く、次いで佐倉市の 209 人が続いています。また、県外からは東京都からの 339 人が最も多くなっています。

2章 四街道市人口ビジョン

転出者の移動後の住所地をみると、千葉県内の市町村では、千葉市 705 人、佐倉市 169 人、船橋市 137 人となっており、転入同様に近隣自治体への移動が多い傾向がうかがえます。また、県外には、東京都への転出が 416 人と最も多くなっています。

図 転入・転出者数の推移(出典:千葉県毎月常住人口調査)

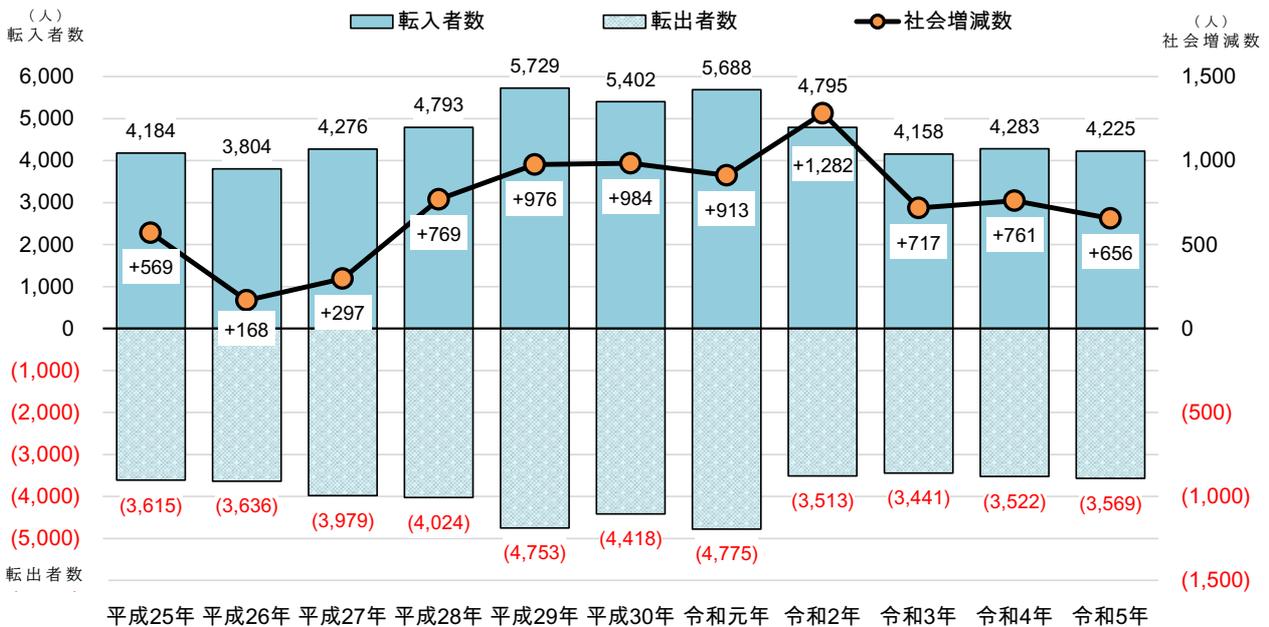


表 転入者の従前住所地・転出者の移動後住所地(出典:住民基本台帳 人口移動報告 令和5年)

【都道府県別転入者数(上位5地域)】

都道府県名	転入者数
千葉県	2,089 人
東京都	339 人
神奈川県	162 人
埼玉県	98 人
茨城県	64 人

【市町村別転入者数(上位5地域)】

市町村名	転入者数
千葉市	939 人
佐倉市	209 人
船橋市	120 人
八千代市	94 人
八街市	72 人

【都道府県別転出者数(上位5地域)】

都道府県名	転入者数
千葉県	1,720 人
東京都	416 人
神奈川県	137 人
埼玉県	91 人
茨城県	71 人

【市町村別転出者数(上位5地域)】

市町村名	転入者数
千葉市	705 人
佐倉市	169 人
船橋市	137 人
八街市	71 人
市川市	69 人

(3) 通勤者（就業者）の流出人口

通勤者の流出の動向として、本市への15歳以上の通勤者（就業者）の流入人口をみると、令和2年は、千葉市からが4,375人と最も多く、次いで佐倉市から1,891人、八街市から683人と、近隣市からの流入が多く、平成2年以降、すべての年において同様の傾向がみられます。

本市からの15歳以上の通勤者（就業者）の流出人口をみると、令和2年は、千葉市が11,212人と最も多く、次いで佐倉市が2,750人、成田市が938人と続いています。また、就業者数38,254人のうち、市内就業者数は12,055人であり、隣接する千葉市・佐倉市への流出人口との合計は26,017人となり、就業者全体の約68%は職住近接がなされています。

表 通勤者（就業者）の流出人口の推移（出典：国勢調査）

(人)

居住地	区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
市内	流入	11,179 (61.0%)	12,530 (58.8%)	12,373 (56.9%)	12,629 (55.2%)	11,468 (50.4%)	12,020 (50.3%)	12,055 (51.7%)
	流出	(32.5%)	(30.9%)	(30.3%)	(31.4%)	(29.5%)	(30.3%)	(31.5%)
市外合計		7,150 (39.0%)	8,793 (41.2%)	9,366 (43.1%)	10,235 (44.8%)	9,804 (43.1%)	10,545 (44.1%)	10,432 (44.8%)
		23,259 (67.5%)	27,955 (69.1%)	28,519 (69.7%)	27,561 (68.6%)	26,965 (69.3%)	26,628 (67.1%)	25,710 (67.2%)
千葉県合計		6,728 (36.7%)	8,279 (38.8%)	8,871 (40.8%)	9,747 (42.6%)	9,439 (41.5%)	10,088 (42.2%)	9,958 (42.7%)
		15,438 (44.8%)	19,042 (47.0%)	19,810 (48.4%)	19,684 (49.0%)	19,263 (49.5%)	19,928 (50.2%)	20,154 (52.7%)
千葉市		2,857 (15.6%)	3,349 (15.7%)	3,580 (16.5%)	3,995 (17.5%)	3,933 (17.3%)	4,324 (18.1%)	4,375 (18.8%)
		8,975 (26.1%)	11,114 (27.5%)	11,447 (28.0%)	11,371 (28.3%)	11,067 (28.5%)	11,409 (28.7%)	11,212 (29.3%)
中央区		- (-)	432 (2.0%)	473 (2.2%)	496 (2.2%)	537 (2.4%)	598 (2.5%)	613 (2.6%)
		- (-)	4,513 (11.1%)	4,354 (10.6%)	3,912 (9.7%)	3,579 (9.2%)	3,453 (8.7%)	3,427 (9.0%)
花見川区		- (-)	457 (2.1%)	439 (2.0%)	477 (2.1%)	448 (2.0%)	457 (1.9%)	441 (1.9%)
		- (-)	746 (1.8%)	769 (1.9%)	909 (2.3%)	942 (2.4%)	1,064 (2.7%)	1,025 (2.7%)
稲毛区		- (-)	796 (3.7%)	822 (3.8%)	926 (4.1%)	870 (3.8%)	922 (3.9%)	901 (3.9%)
		- (-)	2,379 (5.9%)	2,544 (6.2%)	2,625 (6.5%)	2,618 (6.7%)	2,856 (7.2%)	2,804 (7.3%)
若葉区		- (-)	1,304 (6.1%)	1,443 (6.6%)	1,678 (7.3%)	1,604 (7.0%)	1,850 (7.7%)	1,912 (8.2%)
		- (-)	2,122 (5.2%)	2,281 (5.6%)	2,402 (6.0%)	2,374 (6.1%)	2,404 (6.1%)	2,421 (6.3%)
緑区		- (-)	176 (0.8%)	211 (1.0%)	220 (1.0%)	266 (1.2%)	291 (1.2%)	307 (1.3%)
		- (-)	229 (0.6%)	322 (0.8%)	285 (0.7%)	330 (0.8%)	345 (0.9%)	313 (0.8%)
美浜区		- (-)	184 (0.9%)	192 (0.9%)	198 (0.9%)	208 (0.9%)	206 (0.9%)	201 (0.9%)
		- (-)	1,125 (2.8%)	1,177 (2.9%)	1,238 (3.1%)	1,224 (3.1%)	1,287 (3.2%)	1,222 (3.2%)
市川市		124 (0.7%)	109 (0.5%)	105 (0.5%)	112 (0.5%)	94 (0.4%)	97 (0.4%)	110 (0.5%)
		539 (1.6%)	578 (1.4%)	524 (1.3%)	470 (1.2%)	452 (1.2%)	463 (1.2%)	413 (1.1%)
船橋市		306 (1.7%)	332 (1.6%)	296 (1.4%)	316 (1.4%)	305 (1.3%)	341 (1.4%)	355 (1.5%)
		1,078 (3.1%)	1,190 (2.9%)	1,184 (2.9%)	1,146 (2.9%)	1,087 (2.8%)	1,013 (2.6%)	938 (2.5%)
成田市		169 (0.9%)	193 (0.9%)	263 (1.2%)	243 (1.1%)	276 (1.2%)	297 (1.2%)	275 (1.2%)
		787 (2.3%)	967 (2.4%)	1,121 (2.7%)	1,073 (2.7%)	944 (2.4%)	965 (2.4%)	956 (2.5%)
佐倉市		942 (5.1%)	1,323 (6.2%)	1,462 (6.7%)	1,734 (7.6%)	1,674 (7.4%)	1,868 (7.8%)	1,891 (8.1%)
		1,504 (4.4%)	1,957 (4.8%)	2,058 (5.0%)	2,045 (5.1%)	2,247 (5.8%)	2,485 (6.3%)	2,750 (7.2%)
習志野市		139 (0.8%)	231 (1.1%)	167 (0.8%)	177 (0.8%)	172 (0.8%)	146 (0.6%)	164 (0.7%)
		504 (1.5%)	551 (1.4%)	618 (1.5%)	545 (1.4%)	504 (1.3%)	513 (1.3%)	450 (1.2%)
市原市		163 (0.9%)	248 (1.2%)	244 (1.1%)	249 (1.1%)	207 (0.9%)	249 (1.0%)	235 (1.0%)
		317 (0.9%)	394 (1.0%)	344 (0.8%)	339 (0.8%)	379 (1.0%)	355 (0.9%)	400 (1.0%)
八千代市		295 (1.6%)	374 (1.8%)	444 (2.0%)	443 (1.9%)	406 (1.8%)	409 (1.7%)	415 (1.8%)
		417 (1.2%)	511 (1.3%)	521 (1.3%)	595 (1.5%)	529 (1.4%)	551 (1.4%)	512 (1.3%)
八街市		495 (2.7%)	665 (3.1%)	719 (3.3%)	779 (3.4%)	793 (3.5%)	753 (3.2%)	683 (2.9%)
		167 (0.5%)	258 (0.6%)	323 (0.8%)	353 (0.9%)	333 (0.9%)	395 (1.0%)	373 (1.0%)
印西市		64 (0.3%)	106 (0.5%)	137 (0.6%)	124 (0.5%)	129 (0.6%)	154 (0.6%)	156 (0.7%)
		69 (0.2%)	141 (0.3%)	195 (0.5%)	151 (0.4%)	184 (0.5%)	213 (0.5%)	201 (0.5%)
県内その他		1,174 (6.4%)	1,349 (6.3%)	1,544 (7.1%)	1,634 (7.1%)	1,450 (6.4%)	1,450 (6.1%)	1,299 (5.6%)
		1,081 (3.1%)	1,381 (3.4%)	1,475 (3.6%)	1,596 (4.0%)	1,537 (4.0%)	1,566 (3.9%)	1,949 (5.1%)
県外合計		422 (2.3%)	514 (2.4%)	495 (2.3%)	488 (2.1%)	365 (1.6%)	457 (1.9%)	474 (2.0%)
		7,821 (22.7%)	8,913 (22.0%)	8,709 (21.3%)	7,877 (19.6%)	6,670 (17.2%)	6,700 (16.9%)	5,556 (14.5%)
東京都		272 (1.5%)	295 (1.4%)	283 (1.3%)	275 (1.2%)	195 (0.9%)	230 (1.0%)	264 (1.1%)
		7,441 (21.6%)	8,356 (20.6%)	8,142 (19.9%)	7,258 (18.1%)	6,161 (15.8%)	5,786 (14.6%)	4,988 (13.0%)
就業者合計		18,329	21,323	21,739	22,864	22,760	23,895	23,295
(市内・不詳を含む)		34,438	40,485	40,892	40,190	38,889	39,698	38,254

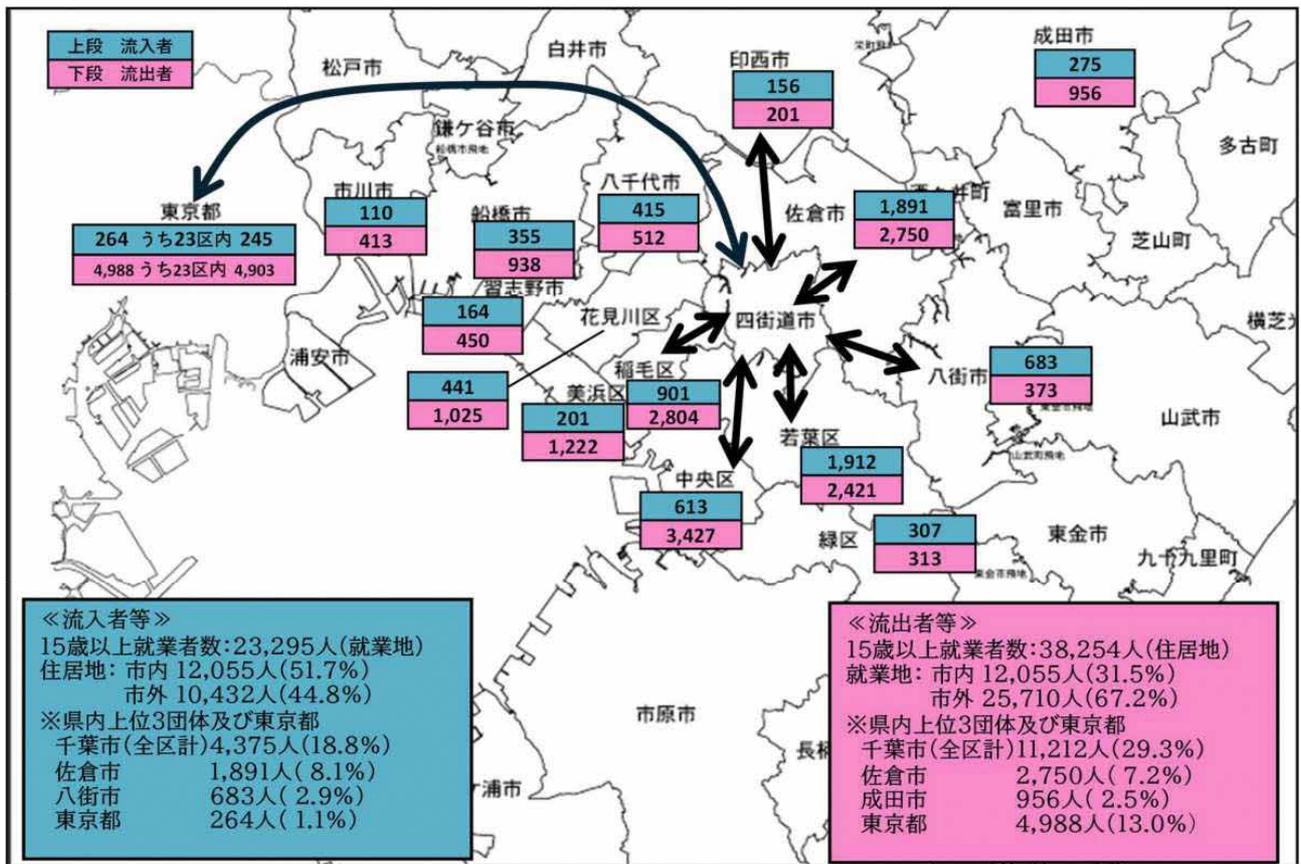
注釈：()内の数値は、市内・不詳者を含む就業者合計に対する割合

2章 四街道市人口ビジョン

令和2年における流入人口(通勤者)の流れを地図上でみると、本市を横断するJR総武本線沿線に位置する千葉市、佐倉市、八街市からの人の流入が最も活発であり、JR総武本線沿線上で40分以上の乗車時間を要する市川市、東京都などからの流入は少ない状況が確認できます。

一方で流出人口(通勤者)でみると、流入人口とは異なり、JR総武本線沿線に位置する千葉市、佐倉市、成田市のほか、市川市、東京都など通勤時間を要する地域にも一定程度の流出がみられます。

図 通勤者の流出入動向(国勢調査)

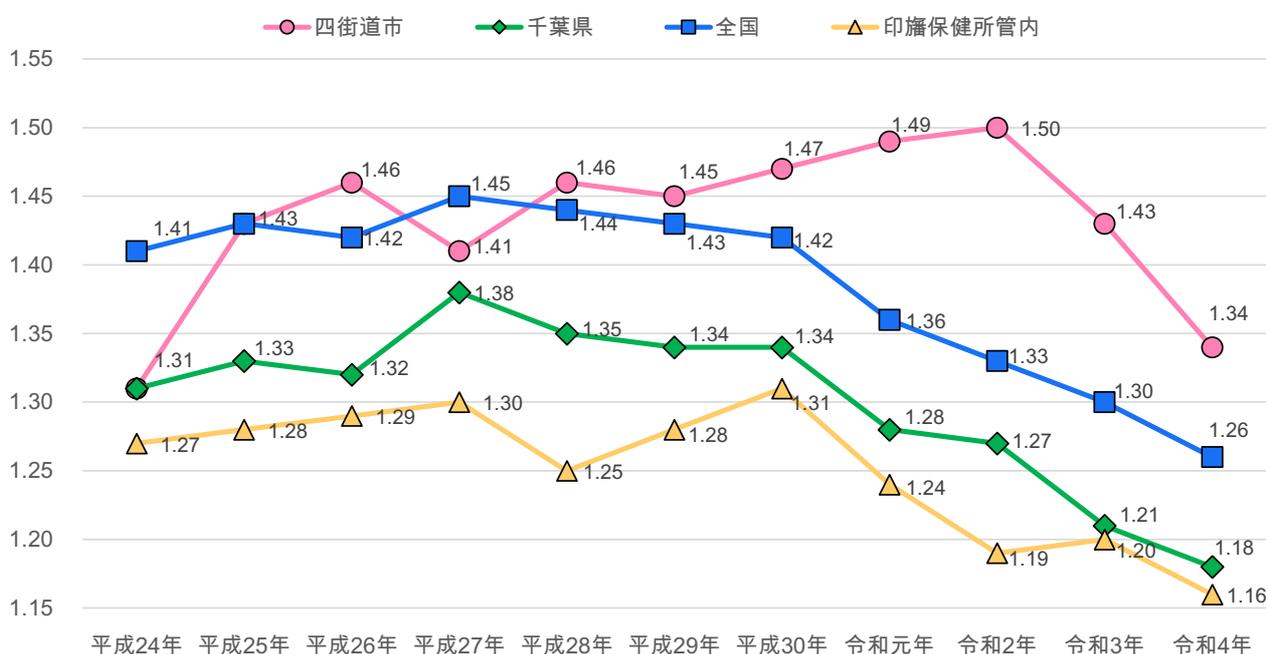


(4) 合計特殊出生率・婚姻等の推移

I 合計特殊出生率の推移

本市の出生率(合計特殊出生率)は、平成24年以降、数値の改善がみられ、令和2年には1.50となりました。しかし、新型コロナウイルス感染症が流行した令和2年以降は低下し、令和4年は1.34と、平成24年に近い水準になっていますが、全国の1.26や千葉県の1.18よりも高い数値は維持しています。

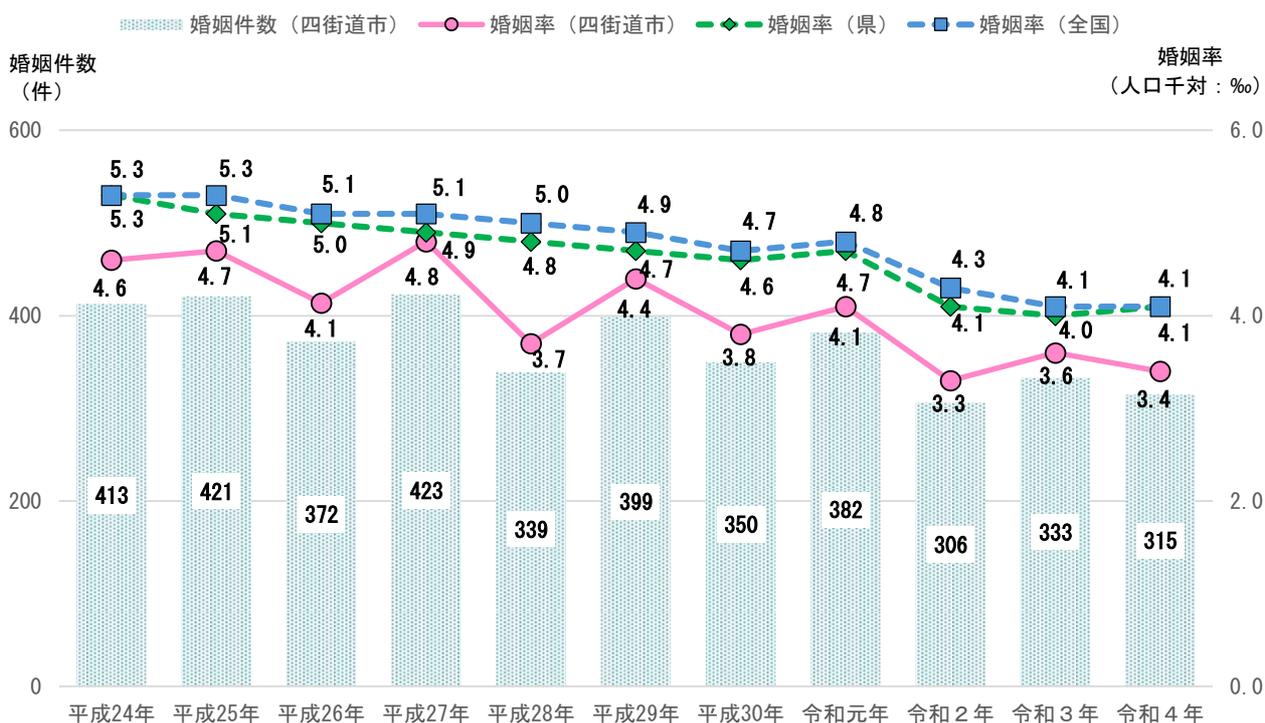
図 合計特殊出生率の推移(千葉県 各種厚生統計調査 合計特殊出生率)



II 婚姻件数と婚姻率の推移

婚姻件数をみると、平成25年までは410～420件前後で推移していましたが、平成26年以降、増減を繰り返しており、令和元年には382件となっています。近年では、コロナ禍の影響を受け、令和4年には315件となっており、減少傾向で推移しています。また、本市の婚姻率は、全国、千葉県より低い状況で推移しています。

図 婚姻件数と婚姻率の推移(千葉県 人口動態統計の概況)



注釈：婚姻率は、人口千人に対する婚姻件数の割合
‰(パーミル)は、千分率、1,000分の1を1とする単位

Ⅲ 既婚率の推移

男性の年齢別既婚率の推移をみると、40代後半においては、低下傾向で推移しています。一方、30代においては、近年上昇傾向となっています。

女性の年齢別既婚率の推移をみると、全体的に男性よりも数値が高いものの、40代においては、低下傾向で推移しています。一方、30代や20代後半においては、近年上昇傾向で推移しています。

図 男性既婚率の推移(国勢調査)

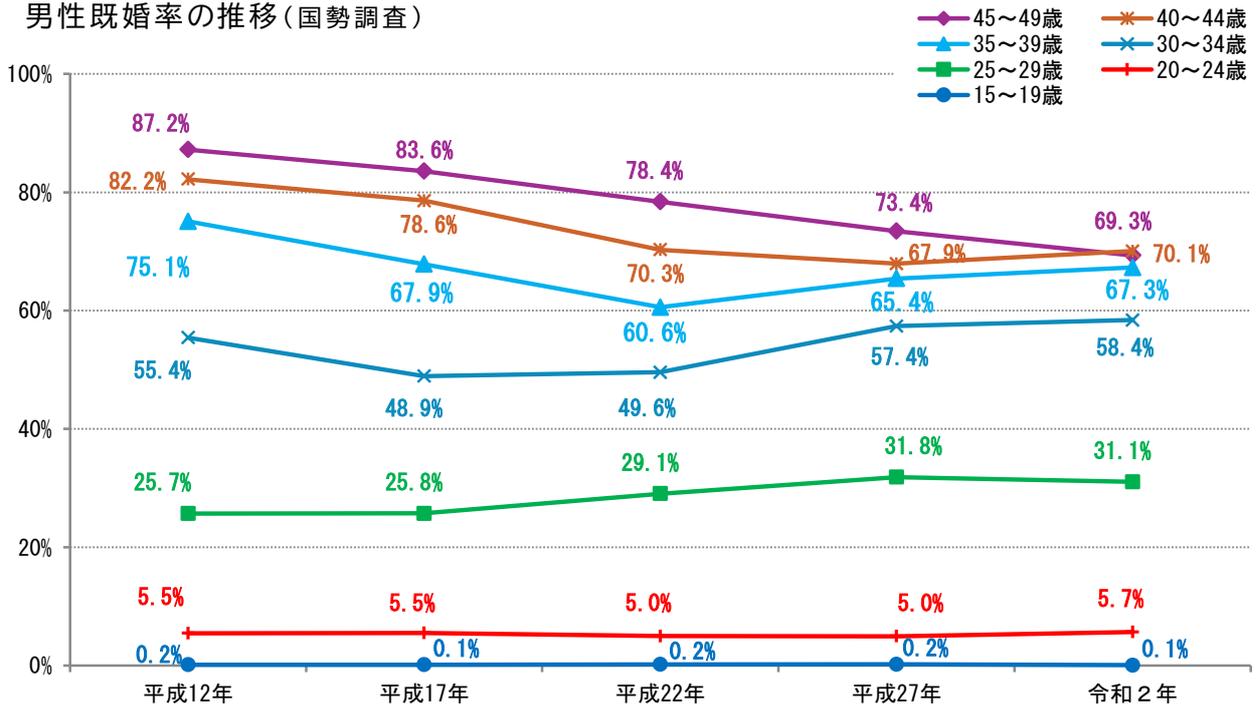
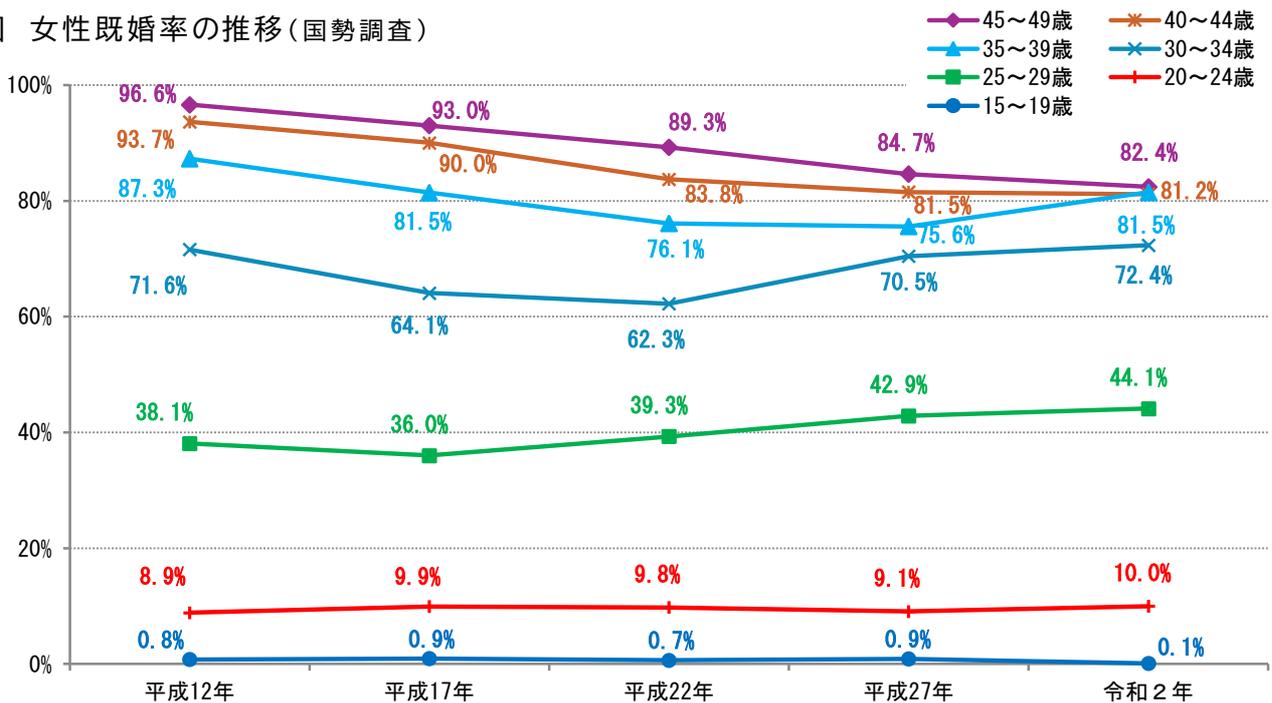


図 女性既婚率の推移(国勢調査)



2. 人口の将来展望

人口推計等 掲載予定

3章 四街道市地方創生総合戦略

1. 目指すべき将来の方向（四街道市地域ビジョン）

幸せつなぐ 未来への道しるべ - Yotsukaido Happy Road -

4つのまちづくりの道【イラスト】

四街道には、長い歴史の中で先人達により築き育まれてきた大きな財産があります。

それは、ホテルが生息する豊かな自然環境と都市的利便性を併せ持つ住環境、そして懸命に地域のための活動に取り組む「人」であり、四街道の大きな魅力となっています。

この四街道の歴史と文化を継承しながら、“四街道らしさ”をさらに磨き上げ、いつまでも住み続けたい、みんなが住んでみたい四街道へ向かっていくため、HAPPY SMILE PLANをはじめ、第2期総合戦略の検証結果や、人口ビジョンの分析結果を踏まえて、目指す将来の方向として、『幸せつなぐ 未来への道しるべ - Yotsukaido Happy Road -』を掲げ、HAPPY SMILE PLANと一体となって、未来に向けたまちづくりを進めます。

「幸せつなぐ 未来への道しるべ」は、さまざまな年代や立場からみた、それぞれが想う幸せな未来につなぐため、4つのまちづくりの方向性を示すものです。

未来を応援する道

夢や希望に満ちた
まちに向け、未来を応援する
まちづくりを進めます。

ふるさとを誇れる道

子どもから高齢者まで、みんなが
好きなまちに向け、ふるさとを
誇れるまちづくりを進めます。

こどもがまんなかの道

子どもも大人もみんなが楽しみながら
自分の可能性を広げていけるまちに
向け、こどもがまんなかの
まちづくりを進めます。

人によりそうやさしい道

いつまでも健康で、自分らしく
生きがいをもって暮らして
いけるまちに向け、人によりそう
やさしいまちづくりを進めます。

2. 総合戦略の構成

(1) 基本目標

第3期総合戦略では、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案して、①地方に仕事をつくる(しごと)、②人の流れをつくる(ひと)、③結婚・出産・子育ての希望をかなえる(みらい)、④魅力的な地域をつくる(くらし)という4つの施策の方向を、4つのまちづくりの道ごとに整理して、基本目標として設定します。

基本目標には、「幸せつなぐ 未来への道しるべ - Yotsukaido Happy Road -」に向けて、市が実現すべき成果(アウトカム)を重視した数値目標を設定します。

また、各基本目標にSDGsとの関係を明示し、地方創生の視点からもSDGsを推進します。

(2) 施策の基本的方向

基本目標を達成するために講ずべき施策の基本的方向を設定します。

(3) 具体的な施策

対象期間(4年間)において実施する施策を設定します。また、具体的な施策ごとに重要業績評価指標(KPI)を設定します。

< 総合戦略とSDGs >

SDGsとは、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」のことであり、地球上の誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。平成27年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられ、2030(令和12)年を期限とし、17のゴールと169のターゲットで構成されています。

また、国のSDGs推進本部において平成28年に決定し、令和元年に改定した、SDGsの達成に向けた中長期的な国家戦略である「SDGs実施指針」では、地方自治体のさまざまな計画にSDGsの要素を反映すること等が期待されています。

HAPPY SMILE PLANで掲げる「幸せつなぐ 未来への道しるべ」は、それぞれが想う幸せな未来につなぐための4つのまちづくりの道を示すものであり、SDGsの考え方(地球上の誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現)とも重なるものです。

この「幸せつなぐ 未来への道しるべ」は地方創生のさらなる加速化・深化に取り組むための計画である、第3期総合戦略の地域ビジョンとしても掲げるものであることから、各基本目標とSDGsとの関係を整理するとともに、わかりやすく明示し、地方創生の観点からもSDGsを推進します。



(4) 総合戦略の体系



3. 4つのまちづくりの道

第3期総合戦略は、地方創生の取組をHAPPY SMILE PLANと一体的に推進するための計画であることから、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略における4つの施策の方向である、①地方に仕事をつくる(しごと)、②人の流れをつくる(ひと)、③結婚・出産・子育ての希望をかなえる(みらい)、④魅力的な地域をつくる(くらし)を、HAPPY SMILE PLANに位置付けた4つのまちづくりの道ごとに整理し、基本目標として設定しています。

また、HAPPY SMILE PLANでは、多様化する行政課題に柔軟に対応し、計画に基づく施策をより効果的に進めるための4つのまちづくりの推進力(エンジン)の一つとして、デジタル化を設定しています。

このため、第3期総合戦略の推進にあたっては、基本目標である4つのまちづくりの道に位置付けた地方創生の取組が効果的に実施できるよう、まちづくりの推進力(エンジン)を積極的に活用していきます。

4つの まちづくりの 道	地方創生				SDGs:17のゴール
	ひと	みらい	しごと	くらし	
未来を応援する道		○		○	
ふるさとを誇れる道	○		○		
子どもがまんなかの道		○	○		
人によりやさしい道	○			○	

<まちづくりの推進力(エンジン)>

市民協働

地域ごとのさまざまな課題への対応にあたっては、市民をはじめとした地域の担い手と連携・協力した共創のまちづくりにより、各施策を効果的に推進します。

公民連携

行政と民間事業者や大学などが連携し、それぞれが持つさまざまな強み(技術・知識・ノウハウ・資本等)を活かした共創のまちづくりにより、各施策を効果的に推進します。

デジタル化

日々進化し続けるデジタル技術を効果的に活用し、市民サービスの向上や効率的な行財政運営を図り、各施策を効果的に推進します。

シティプロ モーション

四街道市の価値をさらに高め、認知度向上や交流人口・関係人口の増加につながるため、地域資源をはじめ、さまざまな市の魅力的な取組を積極的に発信することにより、各施策を効果的に推進します。